

令和5年度 二輪車交通事故防止強化月間 暴走族追放強化月間 横浜市実施要綱

目 的

多発する二輪車の交通事故を防止するため、二輪運転者の交通安全意識を高める運動を市民絡ぐるみで展開するとともに、暴走族（四輪を含む）追放気運を醸成して暴走族への加入防止と離脱の促進を図ります。

期 間

令和5年6月1日（木）～6月30日（金）の1か月間

スローガン

運転に ゆとり やさしさ 思いやり
暴走は しない させない ゆるさない！

重 点

- 1 二輪車の交通事故防止
- 2 暴走族の追放



◆◆◆令和4年中二輪車関係事故発生状況（区別）◆◆◆

	件数（件）		死 者 （人）	負傷者 （人）		件数（件）		死 者 （人）	負傷者 （人）
		構成率					構成率		
鶴見区	206	30.8%	2	177	金沢区	163	32.2%	1	147
神奈川区	114	31.4%	1	95	港北区	152	29.7%	0	138
西区	73	28.6%	2	63	緑区	104	28.0%	2	89
中区	105	27.3%	0	98	青葉区	150	27.6%	0	133
南区	129	39.3%	0	102	都筑区	118	26.9%	1	107
港南区	153	32.1%	0	146	戸塚区	189	36.8%	2	174
保土ヶ谷区	194	42.7%	0	177	栄区	63	32.6%	0	59
旭区	193	36.6%	1	183	泉区	87	32.0%	0	78
磯子区	107	34.4%	0	93	瀬谷区	117	31.3%	0	109

横浜市内全体

件 数	死 者	負傷者
全事故に 占める割合	全事故に 占める割合	全事故に 占める割合
2,417件 32.3%	12人 31.6%	2,168人 25.6%

横 浜 市 交 通 安 全 対 策 協 議 会

各機関・団体の主な取組

共通事項

- 1 「重点」に基づき、今後の新型コロナウイルス感染症等の状況や、これに伴う市民の交通行動の変化等を注視しつつ、それぞれの地域等の実態に即した各種交通安全活動を積極的に推進します。
- 2 関係機関・団体の職員等に、暴走族追放条例・基本方針及びこの運動について周知を図ります。

横浜市・区

- 1 幅広い年齢層を対象に交通安全のための各種イベントを開催して、暴走族追放及び二輪車事故防止気運を盛り上げます。
- 2 地域ぐるみで暴走族追放のための気運が醸成されるよう各種施策を推進します。

警察

- 1 重大事故に直結する悪質性、危険性及び迷惑性の高い違反の指導取締りを強化します。
- 2 二輪車指定路線に白バイを集中投入し、街頭活動を強化します。
- 3 二輪車を通勤や業務で使用する事業所等に対する二輪車安全運転講習を積極的に推進します。
- 4 二輪車用プロテクターやエアバッグジャケットなどの着用を促進するための広報啓発を推進します。
- 5 暴走族の取締りを強化するとともに、暴走族相談員による加入防止・離脱促進や少年相談員等による立直り支援など関係機関・団体と連携し、暴走族追放のための施策を強力に推進します。
- 6 交通情報板等を活用して、この運動の周知と交通安全の啓発を推進します。

交通安全協会

- 1 暴走族・二輪車の無謀運転追放のキャンペーンなどを実施し、地域住民に対する交通安全意識と暴走族追放気運の醸成を図ります。
- 2 地域における暴走族への加入防止や追放の取組を推進します。
- 3 家庭における交通安全の話し合いを奨励するとともに「交通安全ひとこえ運動」を推進します。
- 4 二輪車安全運転講習などの交通安全教育の場への積極的な参加を呼びかけます。

教育関係

- 1 神奈川県学校交通安全教育推進会議が推進する「みんなの交通安全教育推進運動『スタートかながわ』」の理念を踏まえ、交通社会の一員として思いやりと責任ある行動がとれるよう、教育活動全体を通して交通安全教育を推進します。
- 2 暴走族の反社会性や暴走の危険、迷惑性などについて指導するとともに、「暴走族に入らない」、「見に行かない」など具体的な指導を行います。

道路管理者・鉄道事業者

- 1 二輪車事故を防止するための交通安全施設などの整備を図ります。
- 2 道路情報板、駅広報、車内広報等を活用して、この運動の周知と交通安全の啓発を推進します。

地域

- 1 二輪車安全運転講習会など交通安全教育の場へ積極的に参加しましょう。
- 2 通勤・通学時の安全運転など、地域ぐるみで交通安全の「ひとこえ」をかけましょう。
- 3 暴走族について、なぜいけないのかななどを地域で話し合いましょう。
- 4 地域における様々な取組を通じて暴走族追放の気運を高め、暴走族を許さない環境づくりをしましょう。

横浜市交通安全対策協議会
(事務局) 横浜市道路局交通安全・自転車政策課
電話045(671)2323

各種団体総会 報告書

【神奈川県共同募金会港南区支会】

第1号議案

令和4年度 事業報告及び収支決算報告について

第2号議案

神奈川県共同募金会港南区支会委員の就任及び役員改選について

支会長 田代 孝之委員（日野連合町内会）
副支会長 木島 勝吉委員（上大岡連合町内会）
監事 川島 千春委員（港南台連合自治会）
監事 永野地連合町内会長
顧問 栗原 敏也区長
顧問 小林 仁福祉保健センター長

→ 上記、全て承認されました

役員が選任されました

【日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会】

第1号議案

令和4年度日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会
事業報告および収支決算について

第2号議案

令和5年度日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会
事業計画（案）および収支予算（案）について

第3号議案

日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会委員の就任および役員改選について

委員長 栗原 敏也氏（区長）
副委員長 黒田 祐輔氏（野庭団地連合自治会）
遠藤 寛子氏（福祉保健センター担当部長）
監事 飯島 英夫氏（芹が谷連合自治会）
大久保最戸連合町内会長

→ 上記、全て承認されました

役員が選任されました

【港南区社会を明るくする運動実施委員会】

第1号議案

令和4年度港南区社会を明るくする運動実施委員会事業報告について

第2号議案

令和4年度港南区社会を明るくする運動実施委員会収支決算報告書について

第3号議案

令和5年度港南区社会を明るくする運動実施委員会事業計画（案）について

第4号議案

令和5年度港南区社会を明るくする運動実施委員会収支予算書（案）について

→ 上記、全て承認されました

令和5年度 神奈川県共同募金会港南区支会 報告書

1 令和4年度 事業報告

資料1

2 令和4年度 決算報告

資料2

3 令和5年度 事業計画

資料3

4 令和5年度 当初予算

資料4



赤い羽根共同募金

神奈川県共同募金会港南区支会委員名簿

(任期: 令和5年5月1日～令和7年4月30日)

No	地区名等	氏名	役職名
1	上大岡	木島 勝吉	委員 【副支会長】
2	大久保最戸	横川 朱實	委員
3	笹下	荻久保 頼則	委員
4	日下	市村 喜正	委員
5	日野	田代 孝之	委員 【支会長】
6	日野第一	小後摩 和雄	委員
7	港南台	川島 千春	委員 【監事】
8	永野	三橋 茂樹	委員 【監事】
9	野庭団地	黒田 祐輔	委員
10	野庭住宅	黒川 和紀	委員
11	下永谷	古屋 文雄	委員
12	永谷	井出 恵章	委員
13	芹が谷	飯島 英夫	委員
14	ひぎり	宮島 由美子	委員
15	日野南	上田 昭則	委員
16	区社協会長	荻久保 頼則	委員 ※再掲
17	区民児協会長	黒川 暁博	委員
18	区長	栗原 敏也	顧問
19	福祉保健センター長	小林 仁	顧問

1. 令和4年度 共同募金会港南区支会 事業報告

(1) 募金活動

募金期間：令和4年10月1日～令和5年3月31日

年月日	場所	内容
令和4年10月1日	上大岡駅・港南台駅・ 上永谷駅・港南中央駅 各周辺	港南区民生委員児童委員協議会 日野中央高等特別支援学校
令和4年10月7日	上永谷駅	港南区障害者地域作業所連絡会
令和5年1月16日 令和5年1月20日	せりぎんタウン他	芹が谷小学校

(2) 港南区支会主催会議

年月日・場所	会議名	内容
令和4年4月7日 港南区福祉保健活動拠点	監事監査	1. 令和3年度事業報告及び収支決算について
令和4年4月20日 港南区役所	委員会	1. 令和3年度事業報告及び決算報告について 2. 神奈川県共同募金会港南区支会副支会長及び 監事の選任について
令和5年3月20日 港南区役所	委員会	1. 令和4年度共同募金実績中間報告について 2. 令和5年度事業計画(案)並びに収支予算(案) について 3. 令和5年度戸別募金目標額(案)について

(3) 募金の使途

赤い羽根募金：①県下の民間社会福祉施設等の施設整備費、事業費
②令和5年度 港南区社会福祉協議会の事業費
③令和5年度 共同募金港南区支会経費

年末たすけあい募金：①令和4年度 地区社会福祉協議会等
②令和5年度 区内ボランティア活動団体

4 募金実績

令和4年度赤い羽根共同募金実績額は、以下のとおりです。

共同募金総額：16,661,048円

【内訳】

(単位：円)

募金種別	令和3年度	令和4年度	前年比較
一般募金	12,267,329	11,896,038	△371,291
(1)戸別募金	11,129,527	10,515,392	△614,135
(2)街頭募金	49,100	338,932	289,832
(3)法人募金	355,052	303,000	△52,052
(4)学校募金	10,000	67,042	57,042
(5)職域募金	37,236	10,894	△26,342
(6)その他の募金	686,414	660,778	△25,636
年末たすけあい募金	4,910,436	4,765,010	△145,426
(1)戸別募金	3,989,531	4,068,437	78,906
(2)街頭募金	55,084	37,662	△17,422
(3)学校募金	184,226	67,039	△117,187
(4)職域募金	61,736	66,250	4,514
(5)その他の募金	619,859	525,622	△94,237
合計	17,177,765	16,661,048	△516,717

(令和5年3月31日現在)

資金収支計算書

(自) 令和4年04月01日

(至) 令和5年03月31日

資料2

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：支会

1 / 3

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 >				
受取利息配当金収入	0	6	△6	
事業活動収入計(1)	0	6	△6	
< 支出 >				
事業費支出	1,094,000	893,442	200,558	
消耗器具備品費支出	110,000	252,838	△142,838	
印刷製本費支出	110,000	52,108	57,892	
通信運搬費支出	286,000	144,080	141,920	
広報費支出	150,000	139,124	10,876	
手数料支出	83,000	25,892	57,108	
車輦費支出	20,000	10,560	9,440	
資材費支出	330,000	268,840	61,160	
雑支出	5,000	0	5,000	
事務費支出	106,000	99,102	6,898	
旅費交通費支出	5,000	1,272	3,728	
通信運搬費支出	1,000	0	1,000	
会議費支出	2,000	2,000	0	
手数料支出	3,000	5,830	△2,830	
保守料支出	90,000	90,000	0	
雑支出	5,000	0	5,000	
事業活動支出計(2)	1,200,000	992,544	207,456	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△1,200,000	△992,538	△207,462	
< 施設整備等による収支 >				
< 収入 >				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
< 支出 >				
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
< その他の活動による収支 >				
< 収入 >				
法人内部間取引収入	1,110,000	1,110,000	0	
市支会からの収入(経費)	1,110,000	1,110,000	0	
その他の活動収入計(7)	1,110,000	1,110,000	0	
< 支出 >				
法人内部間取引支出	0	115,710	△115,710	
市支会への支出(経費)	0	115,710	△115,710	
その他の活動支出計(8)	0	115,710	△115,710	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,110,000	994,290	115,710	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△90,000	1,752	△91,752	
前期末支払資金残高(12)	90,000	90,907	△907	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	92,659	△92,659	

資金収支計算書

(自) 令和4年04月01日

(至) 令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：寄付金

2 / 3

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 >				
共同募金収入	24,310,000	16,661,041	7,648,959	
一般募金収入	19,710,000	11,896,031	7,813,969	
戸別募金	18,045,000	10,515,392	7,529,608	
街頭募金	450,000	338,932	111,068	
法人募金	450,000	303,000	147,000	
職域募金	71,000	10,894	60,106	
校内募金	34,000	67,042	△33,042	
その他募金	660,000	660,771	△771	
年末募金収入	4,600,000	4,765,010	△165,010	
戸別募金	4,426,000	4,068,437	357,563	
街頭募金	5,000	37,662	△32,662	
職域募金	71,000	66,250	4,750	
校内募金	10,000	67,039	△57,039	
その他の募金	88,000	525,622	△437,622	
受取利息配当金収入	0	7	△7	
事業活動収入計(1)	24,310,000	16,661,048	7,648,952	
< 支出 >				
事業活動支出計(2)	0	0	0	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	24,310,000	16,661,048	7,648,952	
< 施設整備等による収支 >				
< 収入 >				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
< 支出 >				
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
< その他の活動による収支 >				
< 収入 >				
その他の活動収入計(7)	0	0	0	
< 支出 >				
法人内部間取引支出	24,310,000	16,661,048	7,648,952	
県共募への支出(募金)	24,310,000	16,661,048	7,648,952	
その他の活動支出計(8)	24,310,000	16,661,048	7,648,952	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△24,310,000	△16,661,048	△7,648,952	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
前期末支払資金残高(12)	0	0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

資金収支計算書

(自) 令和4年04月01日

(至) 令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：災害義援金

3 / 3

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 >				
災害義援金収入	2,000	0	2,000	
受入災害義援金収入	1,000	0	1,000	
他県受入災害義援金収入	1,000	0	1,000	
事業活動収入計(1)	2,000	0	2,000	
< 支出 >				
災害義援金支出	1,000	0	1,000	
他県災害義援金送付金支出	1,000	0	1,000	
事業活動支出計(2)	1,000	0	1,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,000	0	1,000	
< 施設整備等による収支 >				
< 収入 >				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
< 支出 >				
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
< その他の活動による収支 >				
< 収入 >				
その他の活動収入計(7)	0	0	0	
< 支出 >				
法人内部間取引支出	1,000	0	1,000	
県共募への支出(義援金)	1,000	0	1,000	
その他の活動支出計(8)	1,000	0	1,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△1,000	0	△1,000	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
前期末支払資金残高(12)	0	0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

事業活動計算書

(自) 令和4年04月01日

(至) 令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：支会

1 / 9

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
< サービス活動増減の部 >			
< 収益 >			
共同募金収益	0	0	0
一般募金収益	0	0	0
戸別募金収益	0	0	0
街頭募金収益	0	0	0
法人募金収益	0	0	0
職域募金収益	0	0	0
校内募金収益	0	0	0
イベント募金収益	0	0	0
その他の募金収益	0	0	0
年末募金収益	0	0	0
戸別募金収益	0	0	0
街頭募金収益	0	0	0
法人募金収益	0	0	0
職域募金収益	0	0	0
校内募金収益	0	0	0
イベント募金収益	0	0	0
その他の募金収益	0	0	0
その他の収益	0	0	0
雑収益	0	0	0
災害義援金収益	0	0	0
受入災害義援金収益	0	0	0
他県受入災害義援金収益	0	0	0
サービス活動収益計(1)	0	0	0
< 費用 >			
人件費	0	0	0
非常勤職員給与	0	0	0
事業費	893,442	738,756	154,686
旅費交通費	0	0	0
消耗器具備品費	252,838	70,527	182,311
印刷製本費	52,108	73,917	△21,809
通信運搬費	144,080	151,828	△7,748
会議費	0	0	0
広報費	139,124	140,212	△1,088
手数料	25,892	81,532	△55,640
車輛費	10,560	0	10,560
募金資材費	268,840	220,740	48,100
感謝費	0	0	0
雑費	0	0	0
事務費	99,102	101,250	△2,148
旅費交通費	1,272	1,800	△528
事務消耗品費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
修繕費	0	0	0
通信運搬費	0	0	0
会議費	2,000	2,000	0

事業活動計算書

(自) 令和4年04月01日

(至) 令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：支会

2 / 9

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	手数料	5,830	7,450	△1,620
	賃借料	0	0	0
	保守料	90,000	90,000	0
	雑費	0	0	0
	災害義援金費用	0	0	0
	他県災害義援金送付金費用	0	0	0
	減価償却費	0	0	0
	サービス活動費用計(2)	992,544	840,006	152,538
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△992,544	△840,006	△152,538
< サービス活動外増減の部 >				
< 収益 >				
	受取利息配当金収益	6	5	1
	その他のサービス活動外収益	0	0	0
	雑収益	0	0	0
	サービス活動外収益計(4)	6	5	1
< 費用 >				
	その他のサービス活動外費用	0	0	0
	雑損失	0	0	0
	サービス活動外費用計(5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	6	5	1
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△992,538	△840,001	△152,537
< 特別増減の部 >				
< 収益 >				
	固定資産受贈額	0	0	0
	〇〇受贈額	0	0	0
	固定資産売却益	0	0	0
	車両運搬具売却益	0	0	0
	器具及び備品売却益	0	0	0
	ソフトウェア売却益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	法人内部間取引収益	1,110,000	940,000	170,000
	県共募からの収益(経費)	0	0	0
	市支会からの収益(経費)	1,110,000	940,000	170,000
	区支会からの収益(募金)	0	0	0
	特別収益計(8)	1,110,000	940,000	170,000
< 費用 >				
	資産評価損	0	0	0
	固定資産売却損・処分損	0	0	0
	災害損失	0	0	0
	その他の特別損失	0	0	0
	その他の特別損失	0	0	0
	法人内部間取引費用	115,710	100,000	15,710
	県共募への費用(募金)	0	0	0
	県共募への費用(義援金)	0	0	0
	市支会への費用(募金)	0	0	0
	市支会への費用(経費)	115,710	100,000	15,710

事業活動計算書

(自) 令和4年04月01日

(至) 令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：支会

3 / 9

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	区支会への費用(経費)	0	0	0
	特別費用計(9)	115,710	100,000	15,710
特別増減差額(10)=(8)-(9)		994,290	840,000	154,290
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		1,752	△1	1,753
< 繰越活動増減差額の部 >				
前期繰越活動増減差額(12)		90,907	90,908	△1
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		92,659	90,907	1,752
その他の積立金取崩額(15)		0	0	0
備品取得積立金取崩額		0	0	0
支会経費積立金取崩額		0	0	0
その他の積立金積立額(16)		0	0	0
備品取得積立金積立額		0	0	0
支会経費積立金積立額		0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		92,659	90,907	1,752

事業活動計算書

(自) 令和4年04月01日

(至) 令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：寄付金

4 / 9

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
< サービス活動増減の部 >			
< 収益 >			
共同募金収益	16,661,041	17,177,760	△516,719
一般募金収益	11,896,031	12,267,324	△371,293
戸別募金収益	10,515,392	11,129,527	△614,135
街頭募金収益	338,932	49,100	289,832
法人募金収益	303,000	355,052	△52,052
職域募金収益	10,894	37,236	△26,342
校内募金収益	67,042	10,000	57,042
イベント募金収益	0	0	0
その他の募金収益	660,771	686,409	△25,638
年末募金収益	4,765,010	4,910,436	△145,426
戸別募金収益	4,068,437	3,989,531	78,906
街頭募金収益	37,662	55,084	△17,422
法人募金収益	0	0	0
職域募金収益	66,250	61,736	4,514
校内募金収益	67,039	184,226	△117,187
イベント募金収益	0	5,571	△5,571
その他の募金収益	525,622	614,288	△88,666
その他の収益	0	0	-0
雑収益	0	0	0
災害義援金収益	0	0	0
受入災害義援金収益	0	0	0
他県受入災害義援金収益	0	0	0
サービス活動収益計(1)	16,661,041	17,177,760	△516,719
< 費用 >			
人件費	0	0	0
非常勤職員給与	0	0	0
事業費	0	0	0
旅費交通費	0	0	0
消耗器具備品費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
通信運搬費	0	0	0
会議費	0	0	0
広報費	0	0	0
手数料	0	0	0
車輛費	0	0	0
募金資材費	0	0	0
感謝費	0	0	0
雑費	0	0	0
事務費	0	0	0
旅費交通費	0	0	0
事務消耗品費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
修繕費	0	0	0
通信運搬費	0	0	0
会議費	0	0	0

事業活動計算書

(自) 令和4年04月01日

(至) 令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：寄付金

5 / 9

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	手数料	0	0	0
	賃借料	0	0	0
	保守料	0	0	0
	雑費	0	0	0
	災害義援金費用	0	0	0
	他県災害義援金送付金費用	0	0	0
	減価償却費	0	0	0
	サービス活動費用計(2)	0	0	0
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		16,661,041	17,177,760	△516,719
< サービス活動外増減の部 >				
< 収益 >				
	受取利息配当金収益	7	5	2
	その他のサービス活動外収益	0	0	0
	雑収益	0	0	0
	サービス活動外収益計(4)	7	5	2
< 費用 >				
	その他のサービス活動外費用	0	0	0
	雑損失	0	0	0
	サービス活動外費用計(5)	0	0	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		7	5	2
経常増減差額(7)=(3)+(6)		16,661,048	17,177,765	△516,717
< 特別増減の部 >				
< 収益 >				
	固定資産受贈額	0	0	0
	〇〇受贈額	0	0	0
	固定資産売却益	0	0	0
	車輛運搬具売却益	0	0	0
	器具及び備品売却益	0	0	0
	ソフトウェア売却益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	法人内部間取引収益	0	0	0
	県共募からの収益(経費)	0	0	0
	市支会からの収益(経費)	0	0	0
	区支会からの収益(募金)	0	0	0
	特別収益計(8)	0	0	0
< 費用 >				
	資産評価損	0	0	0
	固定資産売却損・処分損	0	0	0
	災害損失	0	0	0
	その他の特別損失	0	0	0
	その他の特別損失	0	0	0
	法人内部間取引費用	16,661,048	17,177,765	△516,717
	県共募への費用(募金)	16,661,048	17,177,765	△516,717
	県共募への費用(義援金)	0	0	0
	市支会への費用(募金)	0	0	0
	市支会への費用(経費)	0	0	0

事業活動計算書

(自) 令和4年04月01日

(至) 令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：寄付金

6 / 9

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
区支会への費用(経費)	0	0	0
特別費用計(9)	16,661,048	17,177,765	△516,717
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△16,661,048	△17,177,765	516,717
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	0	0	0
< 繰越活動増減差額の部 >			
前期繰越活動増減差額(12)	0	0	0
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
備品取得積立金取崩額	0	0	0
支会経費積立金取崩額	0	0	0
その他の積立金積立額(16)	0	0	0
備品取得積立金積立額	0	0	0
支会経費積立金積立額	0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	0	0	0

事業活動計算書

(自) 令和4年04月01日

(至) 令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：災害義援金

7 / 9

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
< サービス活動増減の部 >			
< 収益 >			
共同募金収益	0	0	0
一般募金収益	0	0	0
戸別募金収益	0	0	0
街頭募金収益	0	0	0
法人募金収益	0	0	0
職域募金収益	0	0	0
校内募金収益	0	0	0
イベント募金収益	0	0	0
その他の募金収益	0	0	0
年末募金収益	0	0	0
戸別募金収益	0	0	0
街頭募金収益	0	0	0
法人募金収益	0	0	0
職域募金収益	0	0	0
校内募金収益	0	0	0
イベント募金収益	0	0	0
その他の募金収益	0	0	0
その他の収益	0	0	0
雑収益	0	0	0
災害義援金収益	0	0	0
受入災害義援金収益	0	0	0
他県受入災害義援金収益	0	0	0
サービス活動収益計(1)	0	0	0
< 費用 >			
人件費	0	0	0
非常勤職員給与	0	0	0
事業費	0	0	0
旅費交通費	0	0	0
消耗器具備品費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
通信運搬費	0	0	0
会議費	0	0	0
広報費	0	0	0
手数料	0	0	0
車輛費	0	0	0
募金資材費	0	0	0
感謝費	0	0	0
雑費	0	0	0
事務費	0	0	0
旅費交通費	0	0	0
事務消耗品費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
修繕費	0	0	0
通信運搬費	0	0	0
会議費	0	0	0

事業活動計算書

(自) 令和4年04月01日

(至) 令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：災害義援金

8 / 9

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
手数料	0	0	0
賃借料	0	0	0
保守料	0	0	0
雑費	0	0	0
災害義援金費用	0	0	0
他県災害義援金送付金費用	0	0	0
減価償却費	0	0	0
サービス活動費用計(2)	0	0	0
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	0	0	0
< サービス活動外増減の部 >			
< 収益 >			
受取利息配当金収益	0	0	0
その他のサービス活動外収益	0	0	0
雑収益	0	0	0
サービス活動外収益計(4)	0	0	0
< 費用 >			
その他のサービス活動外費用	0	0	0
雑損失	0	0	0
サービス活動外費用計(5)	0	0	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	0	0	0
経常増減差額(7)=(3)+(6)	0	0	0
< 特別増減の部 >			
< 収益 >			
固定資産受贈額	0	0	0
〇〇受贈額	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0
車輛運搬具売却益	0	0	0
器具及び備品売却益	0	0	0
ソフトウェア売却益	0	0	0
その他の特別収益	0	0	0
その他の特別収益	0	0	0
法人内部間取引収益	0	0	0
県共募からの収益(経費)	0	0	0
市支会からの収益(経費)	0	0	0
区支会からの収益(募金)	0	0	0
特別収益計(8)	0	0	0
< 費用 >			
資産評価損	0	0	0
固定資産売却損・処分損	0	0	0
災害損失	0	0	0
その他の特別損失	0	0	0
その他の特別損失	0	0	0
法人内部間取引費用	0	0	0
県共募への費用(募金)	0	0	0
県共募への費用(義援金)	0	0	0
市支会への費用(募金)	0	0	0
市支会への費用(経費)	0	0	0

事業活動計算書

(自) 令和4年04月01日

(至) 令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：災害義援金

9 / 9

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	区支会への費用(経費)	0	0	0
	特別費用計(9)	0	0	0
特別増減差額(10)=(8)-(9)		0	0	0
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		0	0	0
< 繰越活動増減差額の部 >				
前期繰越活動増減差額(12)		0	0	0
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		0	0	0
その他の積立金取崩額(15)		0	0	0
備品取得積立金取崩額		0	0	0
支会経費積立金取崩額		0	0	0
その他の積立金積立額(16)		0	0	0
備品取得積立金積立額		0	0	0
支会経費積立金積立額		0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		0	0	0

財産目録
令和5年03月31日現在

別紙4

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会
事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：支会

1 / 6
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	92,659
現金		—		—	—	0
小口現金		—		—	—	0
1 小口現金		—		—	—	0
その他の現金		—		—	—	0
1 その他の現金		—		—	—	0
預貯金		—		—	—	92,659
普通預金		—		—	—	92,659
(一般)横浜信用金庫(普)442322		—		—	—	92,659
(特別)横浜信用金庫(普)44231		—		—	—	0
(特別)かながわ信用金庫(普)0		—		—	—	0
(特別)郵便局(振替)		—		—	—	0
ゆうちょ銀行 0110718		—		—	—	0
定期預金		—		—	—	0
事業未収金		—		—	—	0
未収金		—		—	—	0
立替金		—		—	—	0
前払金		—		—	—	0
仮払金		—		—	—	0
徴収不能引当金		—		—	—	0
流動資産合計						92,659
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金		—		0	0	0
基本財産特定預金		—		0	0	0
基本財産合計						0
(2) その他の固定資産						
車輛運搬具		—		0	0	0
器具及び備品		—		0	0	0
ソフトウェア		—		0	0	0
備品取得積立資産		—		0	0	0
支会経費積立資産		—		0	0	0
その他の固定資産合計						0
固定資産合計						0
資産合計						92,659
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金		—		—	—	0
その他の未払金		—		—	—	0

財産目録
令和5年03月31日現在

別紙4

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会
事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：支会

2 / 6
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
未交付災害義援金		—		—	—	0
預り金		—		—	—	0
流動負債合計						0
固定負債合計						0
負債合計						0
差引純資産						92,659

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載する。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
- ・また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車両運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車両番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

財産目録
令和5年03月31日現在

別紙4

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会
事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：寄付金

3 / 6
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	0
現金		—		—	—	0
小口現金		—		—	—	0
1 小口現金		—		—	—	0
その他の現金		—		—	—	0
1 その他の現金		—		—	—	0
預貯金		—		—	—	0
普通預金		—		—	—	0
(一般)横浜信用金庫(普)442322		—		—	—	0
(特別)横浜信用金庫(普)44231		—		—	—	0
(特別)かながわ信用金庫(普)0		—		—	—	0
(特別)郵便局(振替)		—		—	—	0
ゆうちょ銀行 0110718		—		—	—	0
定期預金		—		—	—	0
事業未収金		—		—	—	0
未収金		—		—	—	0
立替金		—		—	—	0
前払金		—		—	—	0
仮払金		—		—	—	0
徴収不能引当金		—		—	—	0
流動資産合計						0
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金		—		0	0	0
基本財産特定預金		—		0	0	0
基本財産合計						0
(2) その他の固定資産						
車輛運搬具		—		0	0	0
器具及び備品		—		0	0	0
ソフトウェア		—		0	0	0
備品取得積立資産		—		0	0	0
支会経費積立資産		—		0	0	0
その他の固定資産合計						0
固定資産合計						0
資産合計						0
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金		—		—	—	0
その他の未払金		—		—	—	0

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会
事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：寄付金

4 / 6
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
未交付災害義援金		—		—	—	0
預り金		—		—	—	0
流動負債合計						0
固定負債合計						0
負債合計						0
差引純資産						0

(記載上の留意事項)

- 土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- 同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- 科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- 「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- 「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- 建物についてのみ「取得年度」欄に記載する。
- 減価償却資産（有形固定資産に限る）については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
- また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- 車両運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車両番号は任意記載とする。
- 預金に関する口座番号は任意記載とする。

財産目録
令和5年03月31日現在

別紙4

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会
事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：災害義援金

5 / 6
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金		—		—	—	0
現金		—		—	—	0
小口現金		—		—	—	0
1 小口現金		—		—	—	0
その他の現金		—		—	—	0
1 その他の現金		—		—	—	0
預貯金		—		—	—	0
普通預金		—		—	—	0
(一般)横浜信用 金庫(普)442322		—		—	—	0
(特別)横浜信用 金庫(普)44231		—		—	—	0
(特別)かながわ 信用金庫(普)0		—		—	—	0
(特別)郵便局(振替)		—		—	—	0
ゆうちょ銀行 0 110718		—		—	—	0
定期預金		—		—	—	0
事業未収金		—		—	—	0
未収金		—		—	—	0
立替金		—		—	—	0
前払金		—		—	—	0
仮払金		—		—	—	0
徴収不能引当金		—		—	—	0
流動資産合計						0
2 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金		—		0	0	0
基本財産特定預金		—		0	0	0
基本財産合計						0
(2) その他の固定資産						
車両運搬具		—		0	0	0
器具及び備品		—		0	0	0
ソフトウェア		—		0	0	0
備品取得積立資産		—		0	0	0
支会経費積立資産		—		0	0	0
その他の固定資産合計						0
固定資産合計						0
資産合計						0
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金		—		—	—	0
その他の未払金		—		—	—	0

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会
事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区A：災害義援金

6 / 6
(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
未交付災害義援金		—		—	—	0
預り金		—		—	—	0
流動負債合計						0
固定負債合計						0
負債合計						0
差引純資産						0

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄に記載する。
- ・減価償却資産（有形固定資産に限る）については、「減価償却累計額」欄に記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輦運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輦番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。

貸借対照表

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会
事業：神奈川県共同募金会横浜会横浜市港南区支会
拠点：神奈川県共同募金会横浜会横浜市港南区支会

1 / 1
(単位：円)

令和5年03月31日現在

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
<資産の部>				<負債の部>			
流動資産				流動負債			
現金預金	92,659	90,907	1,752	事業未払金	0	0	0
現金	92,659	90,907	1,752	その他の未払金	0	0	0
小口現金	0	0	0	未交付災害義援金	0	0	0
1 小口現金	0	0	0	預り金	0	0	0
その他の現金	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
1 その他の現金	0	0	0	<純資産の部>			
預貯金				<純資産の部>			
普通預金	92,659	90,907	1,752	その他の積立金	0	0	0
(一般)横浜信用金庫(普)442322	92,659	90,907	1,752	備品取得積立金	0	0	0
(特別)横浜信用金庫(普)442314	92,659	90,907	1,752	支会経費積立金	0	0	0
(特別)かながわ信用金庫(普)0424030	0	0	0	次期繰越活動増減差額	92,659	90,907	1,752
(特別)郵便局(振替)	0	0	0	(うち当期活動増減差額)	1,752	△1	1,753
ゆうちょ銀行 0110718	0	0	0	純資産の部合計	92,659	90,907	1,752
定期預金	0	0	0				
事業未収金	0	0	0				
未収金	0	0	0				
立替金	0	0	0				
前払金	0	0	0				
仮払金	0	0	0				
徴収不能引当金	0	0	0				
固定資産							
基本財産	0	0	0				
定期預金	0	0	0				
基本財産特定預金	0	0	0				
基本財産	0	0	0				
その他の固定資産	0	0	0				
車輦運搬具	0	0	0				
器具及び備品	0	0	0				
ソフトウェア	0	0	0				
備品取得積立資産	0	0	0				
支会経費積立資産	0	0	0				
資産の部合計	92,659	90,907	1,752	負債及び純資産の部合計	92,659	90,907	1,752

令和5年度 共同募金会港南区支会 事業計画

共同募金は、社会福祉法第119条の規定に基づき、使途についてあらかじめ配分計画を定めて募金を行っています。配分計画については、神奈川県共同募金会で決定したものを受けて、各区支会において、年度の事業計画と募金総額を決定します。

1 募金活動

令和5年度赤い羽根共同募金目標額は、以下のとおりです。

共同募金総額：24,010,000円

【内訳】

(単位:円)

募金種別	令和4年度	令和5年度(案)	前年比較
一般募金	19,710,000	19,410,000	△300,000
(1)戸別募金	18,045,000	17,930,000	△115,000
(2)街頭募金	450,000	430,000	△20,000
(3)法人募金	450,000	350,000	△100,000
(4)学校募金	34,000	30,000	△4,000
(5)職域募金	71,000	70,000	△1,000
(6)その他の募金	660,000	600,000	△60,000
年末たすけあい募金	4,600,000	4,600,000	0
(1)戸別募金	4,426,000	4,398,000	△28,000
(2)街頭募金	5,000	5,000	0
(3)学校募金	10,000	10,000	0
(4)職域募金	71,000	70,000	△1,000
(5)その他の募金	88,000	117,000	29,000
合計	24,310,000	24,010,000	△300,000

世帯数 69,674 世帯 (令和5年2月28日現在)

- ・この目標額は、募金される際の判断基準(目安)としてお考えください。
- ・使途計画については、**別表1** (P24) のとおりです。

(1) 戸別募金

10月1日～12月31日の間、自治会町内会を通じて、各世帯にお願いします。

ア. 一世帯あたりの募金目安額 330円

【内訳】

一般募金		年末たすけ あい募金	合計
広域計画分	地域計画分		
160円	105円	65円	330円

イ. 生活保護世帯対象分について、募金額を減額します。

【算出方法】

自治会町内会加入世帯数の約3%

エ. 自治会町内会加入世帯数については、依頼時直近の数値を基準に算出します。

(2) 街頭募金

民生委員・児童委員協議会等関係機関に協力いただき、駅前や商店街等で通行人に募金協力の呼びかけを行います。

実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の状況を見て、実施規模を調整します。

(3) 法人募金

区内の法人あてに郵便（DM）にて、依頼状を発送し協力を依頼します。

(4) 学校募金

区内の小・中学校等に依頼状を発送し協力を依頼します。

(5) 職域募金

区内地域ケアプラザ、区内施設、港南区役所、港南警察署等の職員の方々に協力を依頼します。

(6) その他

ア. 小銭募金

港南区シルバークラブ連合会、港南区子ども会連絡協議会の会員の方々に協力を依頼します。

イ. 設置募金

区内の福祉・地域施設に募金箱の設置を依頼します。

2 支会委員会

令和5年4月：令和5年度 事業報告並びに決算について協議を行います。

また、付随した課題等があれば協議を行います。

令和6年3月：令和6年度 事業計画（案）並びに予算（案）について協議を行います。目標額を設定します。

令和5年度 共同募金目標額に対する使途計画について

別表1

(1)一般募金(広域・地域)および年末たすけあい目標額について

(単位:円)

種別	令和4年度目標額	令和5年度目標額(案)	前年比較
一般募金	19,710,000	19,410,000	△ 300,000
広域計画分	10,910,000	10,770,000	△ 140,000
地域計画分	8,800,000	8,640,000	△ 160,000
年末たすけあい募金	4,600,000	4,600,000	0
合計	24,310,000	24,010,000	△ 300,000

(2)令和5年度目標額の使途計画

(単位:円)

一般募金 (令和6年度に配分)	広域計画分	港南区を含む県内の活動に、神奈川県共同募金会を通じて配分されます。
項目	金額	使途内容
広域計画配分	10,770,000	高齢者・障害者施設の整備改善や備品整備、障害者地域作業所の運営援助、在宅福祉団体等へ配分
合計	10,770,000	

(単位:円)

一般募金 (令和6年度に配分)	地域計画分	港南区の地域福祉を推進する事業に、港南区社会福祉協議会を通じて配分されます。
項目	金額	使途内容
こうなんふれあい助成金	6,000,000	審査に基づき区内約100の団体へ活動助成の一部として配分
広報誌作成経費	1,500,000	広報誌”社協だよりこうなん”作成
緊急援護費	100,000	火災(災害)見舞金
区社会福祉大会	440,000	
くじらの館	300,000	
合計	8,340,000	

(単位:円)

一般募金 (令和6年度に配分)	地域計画分	共同募金事務に係る経費として区支会に配分されます。
項目	金額	使途内容
資材費	300,000	募金用資材の購入
合計	300,000	

(単位:円)

年末たすけあい募金	年末たすけあい募金は、港南区社会福祉協議会を通じて、申請のあった区内の社会福祉関係団体・活動に配分します。	
項目	金額	使途内容
共同募金 年末たすけあい配分助成 (令和6年度に配分)	1,600,000	審査に基づき区内社会福祉施設・区域活動団体への活動助成の一部として配分
地区社協活動助成費 (令和5年度に配分)	3,000,000	福祉ネットワーク事業等
合計	4,600,000	

サービス区分別 資金収支当初予算書

令和5年4月

資料4

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区：支会

1 / 3

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 >				
事業活動収入計(1)	0	0	0	
< 支出 >				
事業費支出	1,094,000	1,114,000	20,000	
消耗器具備品費支出	110,000	160,000	50,000	
印刷製本費支出	110,000	160,000	50,000	
通信運搬費支出	286,000	309,000	23,000	
広報費支出	150,000	150,000	0	
手数料支出	83,000	10,000	△73,000	
車輛費支出	20,000	20,000	0	
資材費支出	330,000	300,000	△30,000	
雑支出	5,000	5,000	0	
事務費支出	106,000	106,000	0	
旅費交通費支出	5,000	5,000	0	
通信運搬費支出	1,000	1,000	0	
会議費支出	2,000	2,000	0	
手数料支出	3,000	3,000	0	
保守料支出	90,000	90,000	0	
雑支出	5,000	5,000	0	
事業活動支出計(2)	1,200,000	1,220,000	20,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△1,200,000	△1,220,000	△20,000	
< 施設整備等による収支 >				
< 収入 >				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
< 支出 >				
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
< その他の活動による収支 >				
< 収入 >				
法人内部間取引収入	1,110,000	1,120,000	10,000	
市支会からの収入(経費)	1,110,000	1,120,000	10,000	
その他の活動収入計(7)	1,110,000	1,120,000	10,000	
< 支出 >				
その他の活動支出計(8)	0	0	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,110,000	1,120,000	10,000	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△90,000	△100,000	△10,000	
前期末支払資金残高(12)	90,000	100,000	10,000	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

サービス区分別 資金収支当初予算書

令和5年4月

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区：寄付金

2 / 3

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 >				
共同募金収入	24,310,000	24,010,000	△300,000	
一般募金収入	19,710,000	19,410,000	△300,000	
戸別募金	18,045,000	17,930,000	△115,000	
街頭募金	450,000	430,000	△20,000	
法人募金	450,000	350,000	△100,000	
職域募金	71,000	70,000	△1,000	
校内募金	34,000	30,000	△4,000	
その他募金	660,000	600,000	△60,000	
年末募金収入	4,600,000	4,600,000	0	
戸別募金	4,426,000	4,398,000	△28,000	
街頭募金	5,000	5,000	0	
職域募金	71,000	70,000	△1,000	
校内募金	10,000	10,000	0	
その他の募金	88,000	117,000	29,000	
事業活動収入計(1)	24,310,000	24,010,000	△300,000	
< 支出 >				
事業活動支出計(2)	0	0	0	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	24,310,000	24,010,000	△300,000	
< 施設整備等による収支 >				
< 収入 >				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
< 支出 >				
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
< その他の活動による収支 >				
< 収入 >				
その他の活動収入計(7)	0	0	0	
< 支出 >				
法人内部間取引支出	24,310,000	24,010,000	△300,000	
県共募への支出(募金)	24,310,000	24,010,000	△300,000	
その他の活動支出計(8)	24,310,000	24,010,000	△300,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△24,310,000	△24,010,000	300,000	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
前期末支払資金残高(12)	0	0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

サービス区分別 資金収支当初予算書

令和5年4月

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：神奈川県共同募金会横浜市港南区支会

サ区：災害義援金

3 / 3

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 >				
災害義援金収入	2,000	2,000	0	
受入災害義援金収入	1,000	1,000	0	
他県受入災害義援金収入	1,000	1,000	0	
事業活動収入計(1)	2,000	2,000	0	
< 支出 >				
災害義援金支出	1,000	1,000	0	
他県災害義援金送付金支出	1,000	1,000	0	
事業活動支出計(2)	1,000	1,000	0	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,000	1,000	0	
< 施設整備等による収支 >				
< 収入 >				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
< 支出 >				
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
< その他の活動による収支 >				
< 収入 >				
その他の活動収入計(7)	0	0	0	
< 支出 >				
法人内部間取引支出	1,000	1,000	0	
県共募への支出(義援金)	1,000	1,000	0	
その他の活動支出計(8)	1,000	1,000	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△1,000	△1,000	0	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
前期末支払資金残高(12)	0	0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

令和 5 年度
日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部
港南区地区委員会
議案書

議題

【審議内容】

- 第 1 号議案 令和 4 年度 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部
港南区地区委員会 事業報告および収支決算について
- 第 2 号議案 令和 5 年度 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部
港南区地区委員会 事業計画(案)および収支予算(案)について
- 第 3 号議案 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会
委員の就任および役員改選について

【報告事項】

- (1) 監事監査報告



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

神奈川県支部
横浜市地区本部
港南区地区

日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部

港南区地区委員会 委員

任期：令和3年5月1日～令和5年4月30日
(敬称略)

役 職	所 属	名 前
委員長	港南区長	栗原 敏也
副委員長	永谷連合町内会 (地域代表)	井出 恵章
	福祉保健センター担当部長 (行政関係者)	遠藤 寛子
委 員	上大岡連合町内会	木島 勝吉
	大久保最戸連合町内会	鈴木 渉
	笹下連合町内会	荻久保 頼則
	日下連合町内会	市村 喜正
	日野連合町内会	田代 孝之
	日野第一連合町内会	小後摩 和雄
	港南台連合自治会	川島 千春
	永野連合町内会	三橋 茂樹
	野庭住宅連合自治会	黒川 和紀
	下永谷連合町内会	古屋 文雄
	芹が谷連合自治会	飯島 英夫
	日野南連合自治会	上田 昭則
監 事	野庭団地連合自治会	黒田 祐輔
	ひざり連合自治会	宮島 由美子

第1号議案

令和4年度 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会 事業報告 および 収支決算について

次のとおり提案いたします。

<提案理由>

令和4年度の実施事業及び会計内容について確定し、承認いただきたいので、次のとおり提案いたします。

<内 容>

「令和4年度 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会
事業報告」

「令和4年度 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会
収支決算」

以上、【資料1】のとおり

<根 拠>

日赤港南区地区委員会規程（抜粋）

（委員会の議決）

第8条 委員会は、次の事項を議決する。

- (1) 規程の変更に関する事。
- (2) 事業計画に関する事。
- (3) 予算及び決算に関する事。
- (4) その他委員長が必要と認めた事。

**令和4年度 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部
港南区地区委員会 事業報告**

1 会費募集等

月 日	内 容
令和4年4月 20 日	各自治会町内会に赤十字会員増強運動への協力依頼 (実績額は別表1のとおり)
令和5年3月 15 日	募集協力事務費(会費募集実納額の5%)を協力自治 会町内会へ交付 ※総額 555,255 円
年間	赤十字運動を区民に周知し、協力を依頼

2 災害救護活動

(1)災害見舞金・物資対象

4 世帯被災 ※令和3年度は 3 世帯被災

(2)災害見舞金交付額

合計 193,000 円

(市地区本部 105,000 円、県支部 60,000 円、区 28,000 円)

<内訳(件数)>

全焼(壊)	半焼(壊)	冠水	床上 浸水	合計
1	3	0	0	4件

死亡者	重傷者	合計
1	0	1名

3 国内義援金・海外救援金等受付

国内義援金・海外救援金の案内をおこないましたが、今年度の受付はありませんでした。

受付件数 0件 総額 0円 ※前年度義援金受付状況 … 0件

4 協賛事業活動

区内各団体地域福祉事業への協賛・協力、交付等

(1)各連合自治会・町内会への活動助成

①会費募集協力事務費

②社旨普及費

③地域福祉活動費

(2)地域活動支援事業(そよかぜふれあいまつり実行委員会)への助成

(3)港南区社会福祉協議会当事者等関係団体部会

障害者週間キャンペーンに係る配布資材の購入支援

5 港南区地区委員会主催会議等

開催日	会議名 等	説明	会場
令和4年 4月6日	港南区地区 委員会 監事監査	令和3年度日本赤十字社港南区地区委員会の経理および事業運営について、適正かつ正確に処理されていることが認められた。 監事 黒田 祐輔 氏（野庭団地） 監事 宮島 由美子 氏（ひぎり）	港南区福祉 保健活動拠点
4月20日	港南区地区 委員会総会	【審議内容】 1 令和3年度事業報告および収支決算報告について 2 令和4年度事業計画(案)および収支予算(案)について 【報告事項】 1 監事監査報告	港南区役所 601・602 会議室
令和5年 3月9日	港南区 各種募金 企画委員会	1 令和4年度実績報告ならびに令和5年度の依頼額・目安額の設定および用途について 2 各自治会・町内会への依頼事項について	港南区役所 603

令和4年度 会費募集実績額一覧表

NO	連合自治会・町内会名	加入世帯数 ①	依頼世帯数 (①－3%)	目安額	実績額	令和3年度 実績額
1	上大岡	4,448	4,317	863,400	783,832	808,000
2	大久保最戸	5,660	5,492	1,098,400	961,360	919,500
3	笹下	6,730	6,532	1,306,400	1,070,452	1,097,585
4	日下	4,064	3,946	789,200	710,790	785,600
5	日野	4,114	3,993	798,600	661,431	680,469
6	日野第一	3,963	3,849	769,800	589,590	601,810
7	港南台	7,054	6,851	1,370,200	541,720	657,030
8	永野	7,852	7,624	1,524,800	1,444,871	1,468,540
9	野庭団地	2,152	2,093	418,600	326,700	396,038
10	野庭住宅	2,310	2,243	448,600	259,336	166,017
11	下永谷	4,072	3,959	791,800	700,680	710,860
12	永谷	5,143	4,992	998,400	887,820	918,663
13	芹が谷	2,050	1,991	398,200	382,130	375,600
14	ひざり	2,605	2,529	505,800	521,556	469,785
15	日野南	1,474	1,431	286,200	338,310	293,200
16	その他	6,525	6,351	1,270,200	924,730	869,385
小計		70,216	68,193	13,638,600	11,105,308	11,218,082
預金利子					(送金)1 (事務費繰入)4	3
送金総額					11,105,309	11,218,085

【令和4年度 会費送納額および事業費・事務費申請額内訳】

会費送納額のうち、事業費10%、事務費10%がそれぞれ神奈川県支部に申請することにより、還元されます。

なお1回あたりの送納額が10,000円未満の場合は申請できません。

	送納額	事業費申請額	事務費申請額	申請額計
第1回	5,495,277	549,000	549,000	1,098,000
第2回	4,763,332	476,000	476,000	952,000
第3回	449,900	44,000	44,000	88,000
第4回	396,800	39,000	39,000	78,000
合計	11,105,309	1,108,000	1,108,000	2,216,000

令和4年度 一般会計収支決算書

収入の部 2,610,175 円

支出の部 2,403,064 円

差引残高 207,111 円

(歳入)

項	目	予算額 (円)	決算額 (円)	差引額 (円)	説	明
1	事務費交付金	1,361,000	1,108,000	253,000		
2	事業費交付金	1,361,000	1,108,000	253,000		
3	補助金	160,000	160,000	0	市地区本部事務費	
4	雑収入	1,000	42	958	預金利息 4円 資金移動 38円	
	繰越金 ？	234,133	234,133			
	歳入合計	3,117,133	2,610,175	506,958		

(歳出)

項	目	予算額 (円)	決算額 (円)	差引額 (円)	説	明
1	事務費	1,231,133	1,013,444	217,689		
(1)	人件費	350,000	150,000	200,000	資材送付等の経費	
(2)	人件費を除く事務的経費	881,133	863,444	17,689		
	印刷費	130,000	212,700	△ 82,700	印刷機利用等	
	通信運搬費	400,000	329,193	70,807	資材発送、振込手数料、携帯電話代	
	資材費	18,000	15,400	2,600	資材用クレアファイル	
	会議費	20,000	13,200	6,800	監事監査費用、総会開催費用	
	会場借入費	0	0	0		
	募集協力事務費	150,000	150,000	0	会費募集協力事務費 (@10,000×15地区)	
	職員旅費	5,000	2,880	2,120	交通費	
	備品費	57,000	56,760	240	AED設置費用	
	消耗品費	51,133	35,043	16,090	文房具	
	雑費	50,000	48,268	1,732	新聞購読料、経理システム利用料	

項	目	予算額 (円)	決算額 (円)	差引額 (円)	説	明
2	事業費	1,886,000	1,389,620	496,380		
(1)	災害救護費	350,000	210,525	139,475		
	災害見舞金	100,000	58,000	42,000		
	救護資材費	50,000	0	50,000		
	車両経費	200,000	152,525	47,475	ガソリン代、保険料、自動車税、点検	
(2)	保健衛生普及費			0		
(3)	救急法等普及費	150,000	0	150,000		
	救急法	50,000	0	50,000		
	健康生活支援講習	50,000	0	50,000		
	幼児安全法	50,000	0	50,000		
(4)	青少年赤十字費			0		
(5)	広報活動費	225,000	225,000	0	社旨普及費 (@15,000×15地区)	
(6)	地域福祉活動費	480,000	398,840	81,160	地域福祉活動費 (@20,000×15地区) 他	
(7)	事務的経費	681,000	555,255	125,745	会費実績の5%を単位自治会町内会へ配布	
	歳出合計	3,117,133	2,403,064	714,069		

令和4年度 会費特別会計収支決算書

歳入の部 11,105,309 円
 歳出の部 11,105,309 円
 差引残額 0 円

(歳入)

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1 会費受入金	13,619,200	11,105,308	2,513,892	自治会・町内会
2 雑収入	100	1	99	預金利息
3 前年度繰越金	0	0	0	
歳入合計	13,619,300	11,105,309	2,513,991	

(歳出)

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1 送納金	13,619,300	11,105,309	2,513,991	県支部へ送納
歳出合計	13,619,300	11,105,309	2,513,991	

令和4年度 日赤横浜市地区本部預かり金事業 収支決算書

歳入の部 250,006 円
 歳出の部 105,000 円
 差引残額 145,006 円

(歳入)

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1 雑収入	65,000	65,002	0	
2 前年度繰越金	185,004	185,004	0	
歳入合計	250,004	250,006	0	

(歳出)

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1 災害見舞金	250,004	105,000	145,004	
歳出合計	250,004	105,000		

※横浜市地区本部より250,000円を定額で預かっています。用途は災害見舞金で、年度毎に支出分が補填されます。

令和4年度 災害等資金積立金会計 収支決算書

歳入の部 2,000,000 円

歳出の部 0 円

差引残額 2,000,000 円

(歳入)

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1 災害等資金積立金	0	0	0	
2 雑収入	0	0	0	
3 繰越金	2,000,000	2,000,000		
歳入合計	2,000,000	2,000,000	0	

(歳出)

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1 災害等資金積立金	0	0	0	
2 雑支出	0	0	0	
歳出合計	0	0	0	

第2号議案

令和5年度 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部
港南区地区委員会 事業計画（案） および 収支予算（案）について

令和5年度 事業計画（案）および 収支予算（案）について、次のとおり提案します。

<提案理由>

令和5年度の実施事業及び会計内容について、承認いただきたいので、次のとおり提案いたします。

<内 容>

「令和5年度 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会
事業計画（案）」

「令和5年度 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会
収支予算（案）」

以上、【資料2】のとおり

<根 拠>

日赤港南区地区委員会規程（抜粋）

（委員会の議決）

第8条 委員会は、次の事項を議決する。

- (1) 規程の変更に関する事。
- (2) 事業計画に関する事。
- (3) 予算及び決算に関する事。
- (4) その他委員長が必要と認めた事。

**令和5年度 日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部
港南区地区委員会 事業計画(案)**

1 赤十字会費募集運動実施計画

日本赤十字社設立の目的に則り、赤十字運動の意義と性格を明らかにし、赤十字に関する諸条約に基づく業務の遂行と非常災害救助等その理想とする人道的任務を達成するため、新規会員の加入促進をすすめます。

(1)赤十字事業活動の推進に要する会費(会員、協力会員)を募集します。

【募集期間】 令和5年5月～8月を中心とする通年とします。

【募集方法】 自治会・町内会へ募集の取りまとめを依頼します。

【目 安 額】 13,533,000 円

NO	連合自治会・ 町内会名	加入 世帯数①	依頼世帯数 (①－3%)	令和5年度 目安額(案)
1	上大岡	4,403	4,273	854,600
2	大久保最戸	5,630	5,463	1,092,600
3	笹下	6,677	6,482	1,296,400
4	日下	4,028	3,911	782,200
5	日野	3,680	3,571	714,200
6	日野第一	3,877	3,765	753,000
7	港南台	6,738	6,545	1,309,000
8	永野	7,750	7,523	1,504,600
9	野庭団地	2,092	2,034	406,800
10	野庭住宅	2,250	2,185	437,000
11	下永谷	4,038	3,922	785,000
12	永谷	5,122	4,972	994,400
13	芹が谷	2,046	1,987	397,400
14	ひざり	2,576	2,502	500,400
15	日野南	1,452	1,410	282,000
16	その他	7,315	7,117	1,423,400
合計		69,674	67,665	13,533,000

※加入世帯数は、令和5年2月28日現在の、自治会町内会加入世帯数に基づいて算出しています。

2 事業実施計画

近年における社会、経済情勢の急激な変化に伴い、これに対応した事業の強化をはかり、赤十字の使命を十分に果たすため、引き続き会員増強運動に努め、災害時の援護や地域福祉推進に必要となる活動を行っていきます。

(1)災害援護事業

- ①災害罹災者への見舞金品の交付
- ②国内義援金・海外救援金の受付

(2)各種短期講習会の開催

(3)地区活動費等の交付(15 連合)

- ①会費募集協力事務費 … @10,000×15 地区 (8月予定)
- ②社旨普及費 … @15,000×15 地区 (8月予定)
- ③地域福祉活動費 … @20,000×15 地区 (8月予定)
- ④会費募集協力事務費(会費募集実績額の5%) (3月予定)

(4)地域活動支援事業(団体他)への助成

(5)青少年育成・支援活動(障がい児者支援 等)

(6)港南区災害ボランティアネットワークへの事業協力

3 港南区地区委員会等の開催

- (1)監事監査の実施 (4月 12 日)
- (2)地区委員会総会の開催 (4月 20 日)
- (3)各種募金企画委員会の開催(2月下旬～3月上旬)

令和5年度 一般会計収支予算書（案）

収入の部 3,074,111円
支出の部 3,074,111円
差引残高 0円

（歳入）

項 目	本年度予算額（円）	前年度予算額（円）	比較増減（円）	説 明
1 事務費交付金	1,353,000	1,361,000	△ 8,000	
2 事業費交付金	1,353,000	1,361,000	△ 8,000	
3 補助金	160,000	160,000	0	市地区本部事務費
4 雑収入	1,000	1,000	0	
繰越金	207,111	234,133		
歳 入 合 計	3,074,111	3,117,133	△ 43,022	

（歳出）

項 目	本年度予算額（円）	前年度予算額（円）	比較増減（円）	説 明
1 事務費	1,223,111	1,231,133	△ 8,022	
（1）人件費	350,000	350,000	0	資材送付等の経費
（2）人件費を除く事務的経費	873,111	881,133	△ 8,022	
印刷費	200,000	130,000	70,000	印刷機利用等
通信運搬費	350,000	400,000	△ 50,000	資材発送、振込手数料、携帯電話代
資材費	18,000	18,000	0	資材用
会議費	15,000	20,000	△ 5,000	監事監査費用、総会開催費用
会場借入費	0	0	0	
募集協力事務費	150,000	150,000	0	会費募集協力事務費（@10,000×15地区）
職員旅費	5,000	5,000	0	交通費
備品費	50,000	57,000	△ 7,000	AED設置費用
消耗品費	35,111	51,133	△ 16,022	文房具
雑費	50,000	50,000	0	新聞購読料、経理システム利用料

項 目	本年度予算額（円）	前年度予算額（円）	比較増減（円）	説 明
2 事業費	1,851,000	1,886,000	△ 35,000	
（1）災害救護費	363,000	350,000	13,000	
災害見舞金	70,000	100,000	△ 30,000	
救護資材費	20,000	50,000	△ 30,000	
車両経費	273,000	200,000	73,000	ガソリン代、保険料、自動車税、点検
（2）保健衛生普及費			0	
（3）救急法等普及費	103,000	150,000	△ 47,000	
救急法	35,000	50,000	△ 15,000	
健康生活支援講習	35,000	50,000	△ 15,000	
幼児安全法	33,000	50,000	△ 17,000	
（4）青少年赤十字費			0	
（5）広報活動費	225,000	225,000	0	社旨普及費（@15,000×15地区）
（6）地域福祉活動費	480,000	480,000	0	地域福祉活動費（@20,000×15地区）他
（7）事務的経費	680,000	681,000	△ 1,000	会費実績の5%を単位自治会町内会へ配布
歳 出 合 計	3,074,111	3,117,133	△ 43,022	

令和5年度 会費特別会計収予算書(案)

歳入の部 13,533,100 円
 歳出の部 13,533,100 円
 差引残額 0 円

(歳入)

(単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説 明
1 会費受入金	13,533,000	13,619,200	△ 86,200	自治会・町内会
2 雑収入	100	100	0	預金利息
3 前年度繰越金	0	0	0	
歳入合計	13,533,100	13,619,300	△ 86,200	

(歳出)

(単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説 明
1 送納金	13,533,000	13,619,300	△ 86,300	県支部へ送納
2 繰出金	100	0	100	事務費へ
歳出合計	13,533,100	13,619,300	△ 86,200	

令和5年度 日赤横浜市地区本部預かり金事業 収支予算書(案)

歳入の部 250,006 円
 歳出の部 250,006 円
 差引残額 0 円

(歳入)

(単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説 明
1 雑収入	105,000	65,000	0	
2 前年度繰越金	145,006	185,004	0	
歳入合計	250,006	250,004	0	

(歳出)

(単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説 明
1 災害見舞金	250,006	25,004	225,002	
歳出合計	250,006	25,004	225,002	

※横浜市地区本部より250,000円を定額で預かっています。用途は災害見舞金で、年度毎に支出分が補填されます。

令和5年度 災害等資金積立金会計 収支予算書(案)

歳入の部 2,000,100 円
 歳出の部 100 円
 差引残額 2,000,000 円

(歳 入)

(単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説 明
1 災害等資金積立金	0	0	0	
2 繰越金	2,000,000	2,000,000	0	
3 雑収入	100	0	100	
歳入合計	2,000,100	2,000,000	100	

(歳 出)

(単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	説 明
1 災害等資金積立金	0	0	0	
2 繰出金	100	0	100	
歳出合計	100	0	100	

第3号議案

日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会 委員の就任 および 役員改選について

日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会 委員の就任および役員改選について、次のとおり提案いたします。

<提案理由>

日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会委員の任期終了に伴い、委員会規程第3条に基づき、委員の就任を依頼いたします。

また、同規程第4条に基づき、役員を改選いたします。

<根 拠>

日赤港南区地区委員会規程（抜粋）

（組織）

第2条 委員会は、地域代表、行政関係者等により構成する。

（役員）

第4条 委員会には、次の役員を置く。

- (1) 委員長は地区長とし区長とする。
- (2) 副委員長は地域代表、区福祉保健センター担当部長とする。
- (3) 監事は委員の中から委員会において2名選出する。

（役員の職務）

第5条 役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。
- (3) 監事は、委員会の業務執行状況及び財産の状況を監査する。

（役員の任期）

第6条 地域代表の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠の役員の任期は、前任者の残任期間とする。

**日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部
港南区地区委員会 委員**

任期：令和5年5月1日～令和7年4月30日
(敬称略)

所 属	名 前
港南区長	栗原 敏也
福祉保健センター担当部長(行政関係者)	遠藤 寛子
上大岡連合町内会	木島 勝吉
大久保最戸連合町内会	鈴木 渉
笹下連合町内会	荻久保 頼則
日下連合町内会	市村 喜正
日野連合町内会	田代 孝之
日野第一連合町内会	小後摩 和雄
港南台連合自治会	川島 千春
永野連合町内会	三橋 茂樹
野庭団地連合自治会	黒田 祐輔
野庭住宅連合自治会	黒川 和紀
下永谷連合町内会	古屋 文雄
永谷連合町内会	井出 恵章
芹が谷連合自治会	飯島 英夫
ひざり連合自治会	宮島 由美子
日野南連合自治会	上田 昭則

【委員長（地区長）】

新 任		現 任	
氏 名	役 職	氏 名	役 職
		栗原 敏也	港南区長

【副委員長】

新 任		現 任	
氏 名	役 職	氏 名	役 職
(地域代表)		井出 恵章 (地域代表)	永谷連合町内会長
		羽田 政直	福祉保健センター 担当部長

【監事】

新 任		現 任	
氏 名	役 職	氏 名	役 職
		黒田 祐輔	野庭団地 連合自治会長
		宮島 由美子	ひざり連合自治会長

<任 期>

令和5年5月1日～令和7年4月30日まで

監事監査の結果について

日赤港南区地区委員会において、令和5年4月12日（水）に監事による監査が行われましたので、監事監査結果について次のとおり報告します。

<内 容>

「監事監査報告書」 以上、【報告資料1】のとおり。

<根 拠>

日赤港南区地区委員会規程（抜粋）

（役員の職務）

第5条 役員の職務は次のとおりとする。

- （1） 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。
- （2） 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。
- （3） 監事は、委員会の業務執行状況及び財産の状況を監査する。

監事監査報告書

令和4年度日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会の業務執行状況並びに経理は、監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

令和5年4月 12 日

監 事 _____ 黒田 祐輔 _____

監 事 _____ 宮島 由美子 _____

監事監査報告は個人情報保護の観点から、個人の印影および筆跡が特定されないように原本の写しを掲載しておりません。原本は事務局で保管しております。

日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会規程

(名称及び事務所)

第1条 本委員会は、日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会(以下「委員会」という。)と称し、事務所を港南区社会福祉協議会に置く。

(委員会の任務)

第2条 委員会の任務は、次のとおりとする。

- (1) 赤十字運動に関する企画連絡及び啓発宣伝
- (2) 地区会費目標額の設定
- (3) 赤十字会員の募集勸奨等に関すること
- (4) 災害救護に関する奉仕団活動の推進
- (5) 保健衛生に関する奉仕団活動の推進
- (6) 社会福祉施設及び援護を要するものへの奉仕団活動の推進
- (7) その他赤十字の理想を達成するため必要な奉仕団活動の推進

(組織)

第3条 委員会は、地域代表、行政関係者等により構成する。

(役員)

第4条 委員会には、次の役員を置く。

- (1) 委員長は地区長とし区長とする。
- (2) 副委員長は地域代表、区福祉保健センター担当部長とする。
- (3) 監事は委員の中から委員会において2名選出する。

(役員の職務)

第5条 役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。
- (3) 監事は、委員会の業務執行状況及び財産の状況を監査する。

(役員の任期)

第6条 地域代表の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠の役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第7条 委員会は、毎年1回定例会を開催する。ただし、必要あるときは臨時に開くことができる。

- 2 会議は委員長が召集し、その議長となる。
- 3 委員会は委員会総数の過半数の出席がなければその議事を開き議決することができない。
- 4 議事は出席過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(委員会の議決)

第8条 委員会は、次の事項を議決する。

- (1) 規程の変更に関すること。
- (2) 事業計画に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) その他委員長が必要と認めたこと。

(事務局)

第9条 委員会に事務局を置き、関係事務を処理する。

2 事務局に、局長1名、次長1名、事務局員若干名を置く。

3 局長は区社会福祉協議会事務局長の職にある者に、次長は同次長の職にある者に、事務局員は関係職員をもって充てる。

(会計年度)

第10条 委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(委任)

第11条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は別に定めるものとする。

(付則)

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

日本赤十字神奈川県支部横浜市地区本部港南区地区委員会 災害見舞金交付要綱

1 目 的

この要綱は、災害救助法の適用を受けない災害罹災者に対して見舞金を贈り、応急の救助を図り、併せて罹災者の再起を促進し、または、慶弔を表すことを目的とする。

2 対 象

見舞金交付対象者は、次のとおりとする。

- 1) 家屋の全壊(焼)世帯、半壊(焼)世帯
- 2) 災害による死亡者、重傷者
- 3) その他、奉仕団において、特に救助を必要と認めた災害
- 4) 前号の災害の場合、罹災者に見舞金を贈る際は、正副委員長の協議により交付基準に基づき決定する。

3 見舞金交付基準

- 1) 災害
風水害、地震、爆発又は火災(自己の故意により発生したものを除く。)による災害で災害救助法の適用を受けないもの。
- 2) 家屋の損壊程度
人が常時居住の用に供していた建物で、具体的には住家の損壊、焼失若しくは流失した家屋。
 - イ) 全壊(焼)家屋～被害部分の床面積が、延面積の70%以上に達した程度のもので、または住家の主要構造物の被害額が、その住家の時価50%以上に達した程度のもので、改築しなければ再び居住の用に供しえなくなったもの。
 - ロ) 半壊(焼)家屋～被害部分の床面積が、延面積の20%以上70%未満のもので、または住家の主要構造物の被害額が、その住家の時価20%以上50%未満のもので、その残存部分に補修を加えれば再び居住の用に供し得るもの。
- 3) 人的被害
災害当時、被災地に居住又は滞在していた者
 - イ) 死者～当該災害が原因で死亡した者又は、次の重傷者が後にその傷害が原因で死亡した者。
 - ロ) 重傷者～当該災害のため負傷し、医師の治療を受け又は、受ける必要のある者のうち1ヶ月以上の治療を要する見込の者。

4 見舞金支給手続

奉仕団分団長は管内に災害が発生した場合は、直ちに役員を現場に派遣し災害状況を調査し、事務局(港南区社会福祉協議会)に報告すること。

5 見舞金品

見舞金品の数量及び金額は、別表見舞金品支給早見表により、支給する。

ただし、3. の見舞金交付基準に達しない小災害(家屋の損壊程度)に対しても、見舞金品を支給することとする。

附 則

この要綱は、昭和58年6月7日から施行する。

この要綱は、平成10年8月1日から施行する。

この要綱は、平成11年4月1日改正。

この要綱は、平成15年4月1日改正。

災害見舞金品支給早見表

区分		見舞金					日本赤十字社神奈川県 支部 見舞金品			
		横浜市	市赤十字	区赤十字	県共同募金会	区社協				
全焼 全壊	単身世帯	30,000 円	15,000 円	5,000 円	10,000 円	5,000 円	災害救助法による救助額の 90%以内で毛布、日用品等の現物支給。 単身世帯・二人以上世帯を問わず1世帯 10,000 円			
	2人以上世帯	50,000 円	25,000 円	10,000 円						
半焼 半壊	単身世帯	20,000 円	10,000 円	3,000 円	5,000 円	5,000 円				
	二人以上世帯	30,000 円	15,000 円	5,000 円						
床上 浸水	単身世帯	10,000 円	5,000 円				単身世帯・二人以上世帯を問わず1世帯 5,000 円 ※3			
	二人以上世帯	20,000 円	10,000 円							
冠水	単身世帯	10,000 円	5,000 円							単身世帯・二人以上世帯を問わず1世帯 10,000 円 ※4
	二人以上世帯	20,000 円	10,000 円							
死者 ※5		1人 100,000 円	1人 50,000 円	1人 10,000 円	1人 10,000 円	1人 5,000 円	1人 20,000 円 ※1			
重傷者		1ヶ月以上 1人 30,000 円	1人 20,000 円	1人 5,000 円	1人 5,000 円	1人 5,000 円	1人 10,000 円 ※2			
		6ヶ月以上 1人 50,000 円								

※1 被災時より 24 時間以内に死亡したもの。(昭和 63 年 3 月 1 日改正施行)

※2 2週間以上の入院を要するもの。

※3 日赤県支部災害者援護金「平成 12 年 4 月 1 日より施行」

※4 日赤県支部災害者援護金「平成 16 年 4 月 1 日より施行」

※5 世帯内で見舞金の受け取り手のない場合は弔慰金のみ支給。

港南区社会を明るくする運動実施委員会 令和5年度総会 議案書

議 題

【審議内容】

- 第1号議案 令和4年度港南区社会を明るくする運動実施委員会事業報告について
- 第2号議案 令和4年度港南区社会を明るくする運動実施委員会収支決算報告書について
- 第3号議案 令和5年度社会を明るくする運動実施委員会事業計画（案）について
- 第4号議案 令和5年度社会を明るくする運動実施委員会収支予算書（案）について

【報告事項】

- （1）監事監査報告

目 次

第73回“社会を明るくする運動”総理大臣メッセージ・・・・・・・・・・	1
【第1号議案】	
令和4年度港南区社会を明るくする運動実施委員会事業報告について・・・・・	2
【第2号議案】	
令和4年度港南区社会を明るくする運動実施委員会収支決算報告書について・・	7
【第3号議案】	
令和5年度港南区社会を明るくする運動実施委員会事業計画（案）について・・	10
【第4号議案】	
令和5年度港南区社会を明るくする運動実施委員会収支予算書（案）について・・	12
【報告事項】	
（1）監事監査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
港南区社会を明るくする運動実施委員会規約・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
港南区社会を明るくする運動実施委員会委員名簿（令和5年4月現在）・・・・・	16

第73回“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

これまでたくさんの方々の御尽力を賜り、ありがとうございます。おかげさまで今年で73年目を迎えました。

犯罪や非行の背景には、望まない孤独や社会的孤立など、社会における様々な“生きづらさ”が存在していることが少なくありません。その“生きづらさ”に寄り添い、人と人との互いに支え合うコミュニティを築くことこそが、安全で安心な明るい社会の実現につながっていきます。

本運動を通じて、保護司をはじめとする民間協力者、そして、地域の多くの方々に御理解と御協力をいただきながら、“生きづらさ”を抱える人、再出発を図ろうとする人を受け入れることのできる、包摂的な社会の実現を目指し、犯罪や非行の防止と立ち直り支援に取り組んでまいります。

本年、第二次再犯防止推進計画が策定されました。新たな計画に基づき、国や地方公共団体が一体となって、再犯防止に向けた取組をより一層力強く推進していくことが重要です。

国民の皆様には、“社会を明るくする運動”の社会的意義を御理解いただき、犯罪のない明るい地域社会づくりに取り組む決意のしるしである「幸福の黄色い羽根」のもと、本運動に御参加いただきますよう御協力をお願いいたします。

内閣総理大臣

岸田文雄

第1号議案

令和4年度港南区社会を明るくする運動実施委員会事業報告について

1 事業

事業名	日付・期間等	会場	内容
会費納入依頼	4月～8月		- 令和4年度港南区社会を明るくする運動実施委員会会費を各自治会・町内会に依頼。 ※納入実績額は、資料1参照
標語パネルによる啓発	6月～		- 本運動の標語パネルによる啓発（更生保護女性会の広報活動事業として）。 - 自治会町内会等をはじめとした地域の皆様による「標語パネル」啓発と活動の協賛。 - 区内全中学校へパネルを配布。
広報活動	6月～7月		- 社明活動リーフレットを各自治会・町内会長へ送付。 - チラシを区内約1,177箇所に掲示。 （区内自治会町内会掲示板等）
作文コンテスト	6月～		- 小・中学校9校、259名の応募。神奈川県実施委員会へは8点の推薦を行った。 - 参加児童・生徒全員に参加賞を授与 - 港南保護司会最優秀会長賞2名、優秀会長賞2名、区長賞1名、連合町内会長連絡協議会会長賞1名、港南区更生保護女性会会長賞1名を決定し、賞状と楯を授与した。 - 神奈川県実施委員会で小学生の部2名が入賞した。
・表彰式の実施 — 1月21日			
ホゴちゃんぬりえ展示	6月30～ 7月11日	港南公会堂	あゆみ幼稚園の園児50名にホゴちゃんぬりえをぬってもらい、公会堂に12日間展示をおこない地域住民に向けての啓発を行った。

街頭キャンペーン	7月1日	上大岡駅周辺	・保護司、薬物乱用防止指導員協議会 港南支部、更生保護女性会会員、区 内中学校生徒が歩行者にリーフレッ ト等（600部）配布。安全で安心 な地域社会作りの呼びかけを行っ た。港南中・笹下中・東永谷中（合 計生徒数82名）
ミニ集会	7月～	区内各会場	・地域住民を対象として、各地区で青 少年の非行防止等について話し合い がもたれた。 ・区内8地区（195名の参加）にて 開催。 ※実施状況は、 <u>資料2</u> 参照
矯正展	11月5日	横浜刑務所 横浜少年鑑別所	・矯正展において港南区社明運動のP Rとして、写真やポスター、パンフ レット等の展示をおこない活動内容 を周知した。また、ホゴちゃんぬり えのコーナーを設置して小学生や幼 児・高齢者等にぬりえを実施した。

2 関係団体への助成

- ① 港南保護司会（保護観察活動を遂行し、地域社会の福祉を図ることを目的とする団体）

100,000円

- ② 港南BBS会（青少年の非行防止及び非行に陥った青少年の更生を図る団体）

30,000円

※港南BBS会…「BBS」はビッグ、ブラザーズ、アンド、シスターズ(お兄さん、お姉さん)の略。青少年のかかえる問題や悩みを、一緒に考えるグループ。

- ③港南区更生保護女性会（更生支援活動を行うボランティア団体）

30,000円

- ④地区連合町内会

@5,000×15地区 ※ 協力者育成費として、地区連合自治会・町内会の申請に基づき助成

3 会 議

会 議 名	日 時	会 場	内 容
令和3年度 監事監査	令和4年 4月5日(火) 10時00分から	港南区福祉保健 活動拠点 対面朗読・編集室	① 令和3年度の事業内容確認 ② 令和3年度会計監査
港南区社会を明 るくする運動実 施委員会総会	令和4年 4月20日(水) 11時00分から	港南区役所 601・602 会議室	① 令和3年度港南区社会を明るくする 運動実施委員会事業報告、収支決算 報告並びに会計監査報告について ② 令和4年度港南区社会を明るくする 運動実施委員会事業計画(案)並びに 収支予算(案)について
各種募金企画 委員会	令和5年 3月9日(木) 12時00分から	港南区役所 603会議室	参加：7名 令和5年度港南区社会を明るくする運動 実施委員会会費依頼額の設定について

令和4年度 港南区社会を明るくする運動実施委員会会費納入一覧表

(単位:円)

地区連合自治会町内会名	依 頼 額	実 績 額(円)
上大岡連合町内会	43,150	22,390
大久保最戸連合町内会	54,630	39,130
笹下連合町内会	66,300	43,152
日下連合町内会	39,390	37,450
日野連合町内会	35,470	34,720
日野第一連合町内会	39,070	36,340
港南台連合自治会	67,760	24,490
永野連合町内会	75,310	75,310
野庭団地連合自治会	20,910	15,620
野庭住宅連合自治会	21,850	21,842
下永谷連合町内会	39,440	38,374
永谷連合町内会	49,890	46,600
芹が谷連合自治会	19,880	19,880
ひぎり連合自治会	25,360	25,160
日野南連合自治会	14,030	14,030
その他	68,520	45,840
合 計	680,960	540,328

(達成率:79.3%)

※一世帯あたりの依頼額は10円です

【注記】

(1)自治会町内会加入世帯数より生活保護世帯の扱い分として3%を差し引いた金額を依頼額としました。

	地区名	実施日	会場	参加者数	内 容
1	大久保最戸	令和4年10月24日(月)	大久保町内会館	45	・「更生保護～立ち直りを支える地域のチカラ～」のDVD鑑賞 ・DVD視聴後、担当地区の保護司より、保護司活動に関する講話
2	日下	令和4年6月4日(土)	関町内会館	19	・保護司活動について ・社会を明るくする運動について ・「社会を明るくする運動」作文コンテスト応募作品集から作文の紹介
3	日野	令和4年8月28日(日)	日野町内会館	18	・ビデオ視聴:総理メッセージ、更生保護 ・更生に向けたボランティア団体活動含めた「しくみ」や保護司の処遇活動、保護司数の現状と補充計画についての講話
4	野庭団地	令和4年9月25日(日)	野庭地区センター 中会議室	47	・社会を明るくする運動啓発用のリーフレットを配布 ・港南保護司会会長より、「保護司の活動」、「更生保護ボランティア」の実態、問題点についての講話 ・丸山台中学校校長より、中学生の状況報告
5	野庭住宅	令和4年10月25日(火)	野庭住宅第一集会所	28	・保護司会会長、更生保護女性会会長より、立ち直りを支えるしくみについての講話 ・地域住民が協力し共に理解を深め協力しあう事の重要性について意見交換
6	下永谷	令和4年8月26日(金)	中永谷町内会館	24	・保護司の立場から見た、最近の更生者の状況、かわり方について ・質疑応答 ・防犯上の情報交換
7	永谷	令和4年6月11日(土)	永谷地区センター	38	・担当地区の保護司より活動紹介 ・更生保護女性会会長より活動紹介 ・県立精神医療センター外来看護師より講演・薬物依存症について
8	日野南	令和5年3月19日(日)	日野南コミュニティハウス	19	担当地区の保護司より、保護司活動に関する講話

第2号議案

令和4年度港南区社会を明るくする運動実施委員会収支決算報告書について

収入合計 1,082,011 円

支出合計 643,441 円

差 引 438,570 円(次年度へ繰り越し)

収入の部

(単位:円)

科 目	本年度予算額	決算額	差引増△減	説 明
会 費	680,960	540,328	140,632	
助 成 金	100,000	100,000	0	区社協年末たすけあい 配分助成
雑 収 入	10	4	6	預金利息
繰 越 金	441,679	441,679	0	前年度繰越金
合 計	1,222,649	1,082,011	140,638	

支出の部

(単位:円)

科 目	本年度予算額	決算額	差引増△減	説 明
事 務 費	147,000	141,564	5,436	
会 議 費	2,000	2,000	0	監事監査費用弁償
印 刷 費	10,000	10,000	0	印刷経費
通信連絡費	45,000	39,564	5,436	郵券代、振込手数料
協力者育成費	75,000	75,000	0	@5,000×15地区
雑 費	15,000	15,000	0	経理システム利用料・消耗品等
事 業 費	730,000	501,877	228,123	
ミニ集会助成金	150,000	80,000	70,000	@10,000×8地区
関係団体助成金	160,000	160,000	0	港南保護司会 100,000 港南BBS会 30,000 港南区更生保護女性会 30,000
街頭宣伝費	70,000	47,514	22,486	
啓発資材費	350,000	214,363	135,637	ポスター・リーフレット ミニ集会配布用啓発グッズ 作文コンテスト表彰者記念品、賞状等
予 備 費	345,649	0	345,649	
合 計	1,222,649	643,441	579,208	

資金収支計算書

(自) 令和4年04月01日

(至) 令和5年03月31日

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会

事業：社会を明るくする運動

拠点：社会を明るくする運動

サ区A：社会を明るくする運動

1 / 1

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考
< 収支の部 >				
< 収入 >				
会費収入	680,960	540,328	140,632	
会費収入	680,960	540,328	140,632	
助成金	100,000	100,000	0	
助成金	100,000	100,000	0	
雑収入	10	4	6	
雑収入	10	4	6	
繰越金	441,679	441,679	0	
繰越金	441,679	441,679	0	
収入計(1)	1,222,649	1,082,011	140,638	
< 支出 >				
事務費	147,000	141,564	5,436	
会議費	2,000	2,000	0	
印刷費	10,000	10,000	0	
通信連絡費	45,000	39,564	5,436	
協力者育成費	75,000	75,000	0	
雑費	15,000	15,000	0	
事業費	730,000	501,877	228,123	
ミニ集会助成金	150,000	80,000	70,000	
関係団体助成金	160,000	160,000	0	
街頭宣伝費	70,000	47,514	22,486	
啓発資材費	350,000	214,363	135,637	
予備費	345,649	0	345,649	
予備費	345,649	0	345,649	
支出計(2)	1,222,649	643,441	579,208	
収支差額(3)=(1)-(2)	0	438,570	△438,570	

貸借対照表

法人：社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会
事業：社会を明るくする運動

サ区A：社会を明るくする運動

1 / 1
(単位：円)

令和5年03月31日現在

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
<資産の部>				<負債の部>			
流動資産				負債の部合計			
現金預金	438,570	441,679	△3,109	<純資産の部>			
預貯金	438,570	441,679	△3,109	次期繰越活動増減差額			
仮払金	0	0	0	(うち当期活動増減差額)			
固定資産				純資産の部合計			
資産の部合計	438,570	441,679	△3,109	負債及び純資産の部合計			

令和5年度港南区社会を明るくする運動実施委員会事業計画(案)について

1 目的

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

港南区においても、地域住民の協力により、次代を担う青少年の健全育成や、非行・犯罪防止を図り、明るく住みよい安心して暮らせる街づくりを目指します。

2 実施事業

(1) 会費の募集

資金確保のため会費の募集を行います。

目標額：676,650円 [加入世帯数×97%×10円]

※令和5年2月時点での自治会町内会単位の加入世帯数で算出

(2) 区内の青少年健全育成や更生保護活動並びに犯罪予防活動等への助成

港南保護司会／港南BBS会／港南区更生保護女性会／薬物乱用防止指導員協議会港南支部

(3) 広報・啓発活動

①街頭キャンペーン

実施日：令和5年7月上旬

協力団体：港南保護司会、薬物乱用防止指導員協議会港南支部、港南区更生保護女性会、区内中学校

②ミニ集会の開催

目的：「社会を明るくする運動」の周知を図り、家庭、学校、住民組織等の連携により青少年の健全育成や犯罪の防止及び罪を犯した人たちの更生についての理解を深めます。

主催：各地区連合自治会町内会

方法：地区の状況に合わせた日程・内容により開催

設定したテーマで開催する場合には保護司会・更生保護女性会から講師を派遣

助成金：10,000円／地区

参加者：町内会役員、保護司、更生保護女性会会員、民生委員児童委員、主任児童委員、青少年指導員、少年補導員、学校及び警察関係者、一般区民等

※連合町内会と保護司会・更生保護女性会との連携を強めます。

③ 広報物の配布

「社会を明るくする運動」の広報宣伝をより効果的に展開していくため、法務省で作成される社明広報物（ポスター、リーフレット等）を活用します。

・地域への周知：自治会町内会を通じ、リーフレット配布、チラシ掲示を依頼します。

④ホゴちゃんぬりえの展示

「社会を明るくする運動」のマスコットキャラクター「ホゴちゃん」のぬりえを地域の保育園児や幼稚園児に作成していただき、作品を区役所へ展示します。

⑤矯正展

「社会を明るくする運動」のPRとしてリーフレット等啓発資材の配布や、写真やポスター、パンフレット等の展示をおこない活動内容を周知します。

その他

- ・「社会を明るくする運動」作文コンテストへの参加

“社会を明るくする運動”神奈川県実施委員会が行っている作文コンテストに港南区内の小・中学生の参加を呼びかけ、運動への関心や理解を高めます。

第4号議案

令和5年度港南区社会を明るくする運動実施委員会収支予算書(案)について

収入合計 1,215,230 円

支出合計 1,215,230 円

差 引 0 円

収入の部

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増△減	説 明
会 費	676,650	680,960	△ 4,310	
助 成 金	100,000	100,000	0	区社協年末たすけあい 配分助成
雑 収 入	10	10	0	預金利息
繰 越 金	438,570	441,679	△ 3,109	前年度繰越金
合 計	1,215,230	1,222,649	△ 7,419	

支出の部

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増△減	説 明
事 務 費	147,000	147,000	0	
会 議 費	2,000	2,000	0	監事監査費用弁償
印 刷 費	10,000	10,000	0	印刷経費
通信連絡費	45,000	45,000	0	郵券代、振込手数料
協力者育成費	75,000	75,000	0	@5,000×15地区
雑 費	15,000	15,000	0	経理システム利用料・消耗品等
事 業 費	790,000	730,000	60,000	
ミニ集会助成金	150,000	150,000	0	@10,000×15地区
関係団体助成金	190,000	160,000	30,000	港南保護司会 100,000 港南BBS会 30,000 港南区更生保護女性会 30,000 薬物乱用防止指導員協議会港南支部 30,000
街頭宣伝費	100,000	70,000	30,000	道路使用許可印紙代 街頭宣伝資材等
啓発資材費	350,000	350,000	0	ポスター・リーフレット ミニ集会配布用啓発グッズ 作文集作成経費 作文コンテスト表彰者記念品、賞状等
予 備 費	278,230	345,649	△ 67,419	
合 計	1,215,230	1,222,649	△ 7,419	

令和4年度 監査報告書

令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日迄）の港南区社会を明るくする運動実施委員会の事業報告、収支決算書を監査した結果、適切に処理されており相違のないことを認めます。

以 上

令和5年4月7日

監 事 林 雄三

監 事 大木 恵美子

※監査報告書は、個人情報保護の観点から個人の印影・筆跡を特定されないように、原本掲載をしておりません。原本は事務局で保管しています。

港南区社会を明るくする運動実施委員会規約

(名 称)

第1条 この会は、港南区社会を明るくする運動実施委員会（以下「委員会」という）と称する。

(事務所)

第2条 委員会の事務所は、社会福祉法人横浜市港南区社会福祉協議会（所在地：横浜市港南区港南四丁目2番8号3階港南区福祉保健活動拠点）内に置く。

(目 的)

第3条 委員会は、港南区内における青少年の健全育成、犯罪や非行の防止、更生保護事業の充実・発展を図ることを目的とする。

(事 業)

第4条 委員会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) “社会を明るくする運動”会費の募集
- (2) 地域における青少年の健全育成や防犯・更生保護を促進させる事業の企画および実施
- (3) 地域住民および青少年を対象とした更生保護啓発促進事業への助成
- (4) その他、前条の目的を達成するため必要と認める事業

(組 織)

第5条 本委員会は、次の者により構成される。

港南区各地区連合町内会長
港南区保護司会会長・副会長
港南区更生保護女性会会長
港南区社会福祉協議会会長
港南区民生委員児童委員協議会会長
港南区女性団体連絡協議会会長
港南区各地区連合町内会女性部代表
神奈川県薬物乱用防止推進協議会港南支部支部長
港南少年補導員連絡会会長
港南防犯指導員連絡協議会会長
港南区子ども会連絡協議会会長
港南区青少年指導員協議会会長
港南区小学校長会代表 2名
港南区中学校長会代表 2名
港南区PTA連絡協議会代表
港南BBS会会長
港南警察署署長
港南警察署生活安全課長
更生保護法人まこと寮施設長
港南区長
港南区福祉保健センター担当部長

(役 員)

第6条 本委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 2名
- (3) 監事 2名

(役員等の選任)

- 第7条 委員長は、連合町内会長連絡協議会長の職にある者をもってこれに充てる。
- 2 副委員長は、港南区長及び保護司会長の職にあるものを充てる。
- 3 監事は、港南保護司会副会長の職にあるものを充てる。

(役員の職務)

- 第8条 委員長は本委員会を代表し、会務を統轄する。
- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 監事は、会の業務執行状況及び財産の状況を監査する。

(委員会)

- 第9条 委員会は委員長が招集し、議長となる。
- 2 委員会は、委任状を含め定数の2分の1以上の出席で成立し、議事は出席者の過半数をもって決する。可否同数のときは、委員長の決するところとする。
- 3 委員会は、事業計画及び報告、予算及び決算等に関することを議決する。

(会 計)

- 第10条 本委員会の経費は、次に掲げる収入をもってこれに充てる。
- (1) 会費 町内会自治会の協力のもと、1世帯10円を募集する。
- (2) 助成金
- (3) その他の収入

(会計年度)

- 第11条 本委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

(事務局)

- 第12条 本委員会に事務局を設け、庶務及び会計、その他の事務を処理する。
- 2 事務局長は社会福祉法人横浜市港南区社会福祉協議会事務局長をもって充て、会計責任者となる。
- 局員は社会福祉法人横浜市港南区社会福祉協議会職員の中から委員長が委嘱する。

(その他)

- 第13条 この規約に定めるもののほか、必要な事項に関しては、委員長が別に定めるものとする。

附 則

この規約は、平成20年4月21日から施行する。

港南区社会を明るくする運動実施委員会 名簿

令和5年3月現在 (敬称略)

N0	団体・機関	氏名	備考
1	港南区連合町内会長連絡協議会会長・下永谷連合町内会	古屋 文雄	委員長
2	港南区長	栗原 敏也	副委員長
3	港南保護司会会長	須田 次朗	副委員長
4	港南保護司会副会長	大木 恵美子	監事
5	港南保護司会副会長	林 雄三	監事
6	港南区更生保護女性会	笹崎 政代	
7	神奈川県薬物乱用防止指導員協議会港南支部支部長	大木 恵美子	
8	港南少年補導員連絡会	清水 一明	
9	港南防犯指導員連絡協議会	齊藤 陽子	
10	港南区民生委員児童委員協議会	黒川 曉博	
11	港南区社会福祉協議会会長 笹下連合町内会	荻久保 頼則	
12	上大岡連合町内会	木島 勝吉	
13	大久保最戸連合町内会	鈴木 渉	
14	日下連合町内会	市村 喜正	
15	日野連合町内会	田代 孝之	
16	日野第一連合町内会	小後摩 和雄	
17	港南台連合自治会	川島 千春	
18	永野連合町内会	三橋 茂樹	
19	野庭団地連合自治会	黒田 祐輔	
20	野庭住宅連合自治会	黒川 和紀	
21	永谷連合町内会	井出 恵章	
22	芹が谷連合自治会	飯島 英夫	
23	ひぎり連合自治会	宮島 由美子	
24	日野南連合自治会	上田 昭則	

N0	団体・機関	氏名	備考
25	日野第一地区連合女性部	加藤 富美代	
26	下永谷地区連合女性部	山崎 貴美江	
27	港南区子ども会連絡協議会	田野井 一雄	
28	港南区青少年指導員協議会	穂永 進	
29	港南区中学校長会 (東永谷中学校)	青木 照美	
30	港南区小学校長会 (南台小学校)	吉田 英輝	
31	港南区PTA連絡協議会 (永谷小学校)	大津 雅人	
32	港南BBS会	相場 正史	
33	港南福祉保健センター担当部長	遠藤 寛子	
34	港南警察署長	村野 英明	
35	港南警察署生活安全課長	和田 史	
36	更生保護法人まこと寮施設長	柴田 裕二	

(事務局)

N0	団体・機関	氏名	備考
1	港南区社会福祉協議会 事務局長	加藤 一郎	
2	港南区社会福祉協議会 事務局次長	樋口 宗典	
3	港南区社会福祉協議会 担当職員	藤井 多美枝	

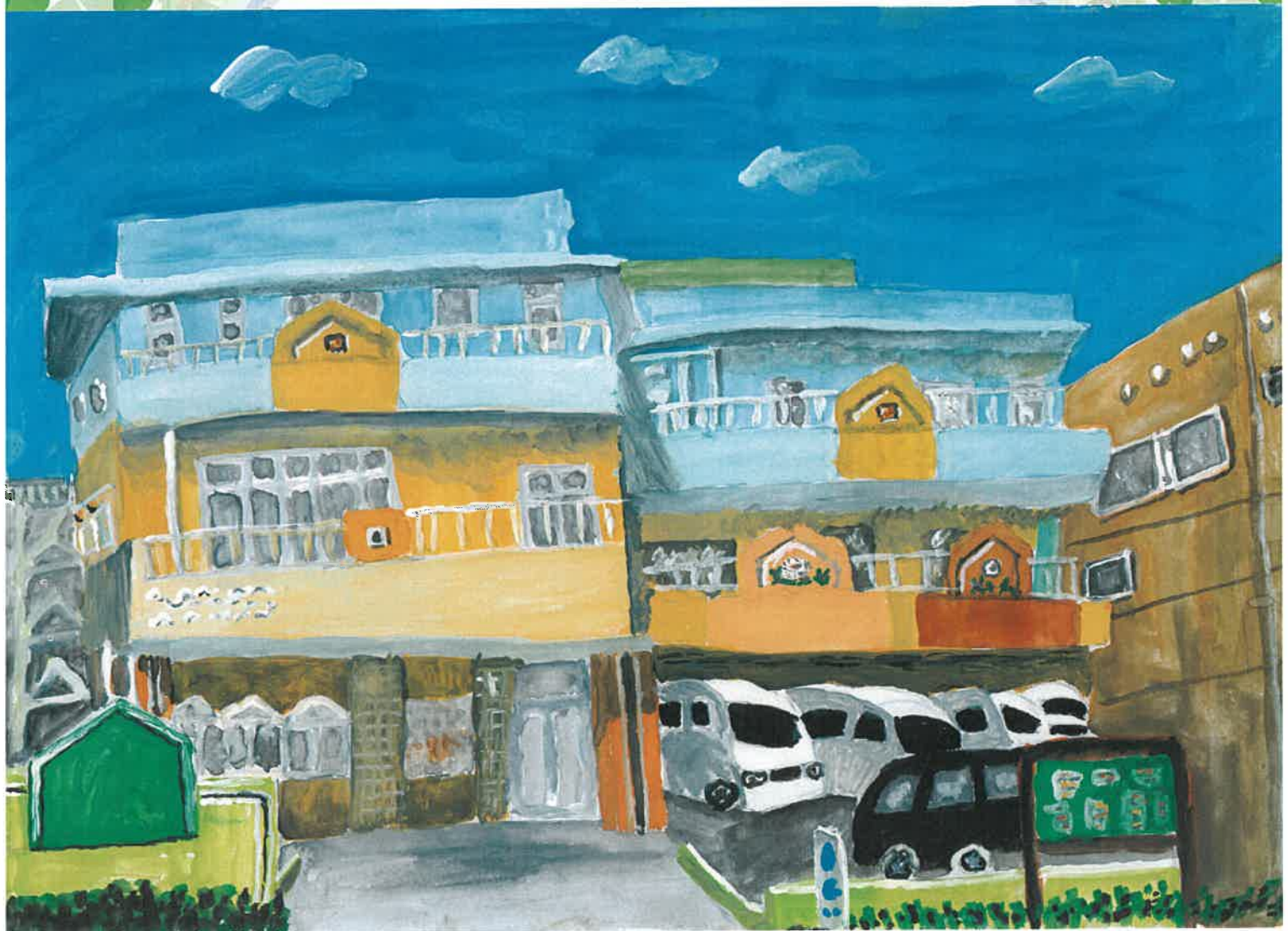
社会福祉法人 そよかぜの丘

風のおくりもの

第41号

2023年3月発行

法人設立20周年記念号



絵 そよかぜの家 佐藤 貴史さん

ごあいさつ

社会福祉法人そよかぜの丘 理事長 高森 政雄



「社会福祉法人そよかぜの丘」は平成13年10月に設立され、地域の多くの皆様から暖かいご支援をいただき、令和3年で設立20年目を迎えました。この時期コロナウィルス感染症対策のため、イベントの制限などを余儀なくされましたが、この度、記念誌を発刊できますことに深く感謝申し上げます。

この間、ご家族の皆様をはじめ、ボランティアの皆様、地域の方々、行政の皆様に支えられたことに厚く御礼申し上げます。

法人としても地域福祉のニーズが多様化するなかで、職員のスキルアップを図り、子どもから高齢者、障害のある方もない方も住み慣れた地域で安心して暮らせるようサービスの充実に努めてまいります。

福祉サービスの礎は人であることを念頭に、地域で支援を必要とする皆様に満足度の高いサービスを提供し、地域福祉の充実に力を注いで参ります。どうぞ今後とも暖かいご支援ご協力をお願い申し上げます。



港南区長 栗原 敏也様



社会福祉法人そよかぜの丘が、設立20周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。また、これまで港南区の福祉保健行政の推進にご尽力いただきました法人職員の皆様をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

港南区では地域の皆さまと協働でつくる「安全で誰もが安心して元気に暮らせるまち」を目標に掲げており「withコロナ」でも顔の見える関係を大切にし、「協働による地域づくり」を進めています。この目標達成に向け貴法人とも、引き続き連携を図って参りたいと思います。

結びに、港南区の地域の皆様の参加と支えにより誕生した貴法人への区民の皆様からの信頼とご理解が、より一層深まりますことを心から祈念致します。

港南区連合町内会長連絡協議会 会長 古屋 文雄様



社会福祉法人「そよかぜの丘」が法人設立20周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。また、障がい者や高齢者の支援を通じて、長年にわたり地域福祉の推進にご尽力されましたこと厚く感謝申し上げます。区民のみなさんは、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせることを願っています。そういう地域社会になるためには、支援を必要とされる方々に満足されるサービスを提供することが、とても大切なことです。私どもも、地域で行っている見守りや支え合いの取組を、推進していきたいと考えています。これからも貴法人の施設が利用者から信頼され、充実したサービスと安定した運営が行われることを期待しております。



横浜市港南区社会福祉協議会 会長 荻久保 頼則様



そよかぜの丘が創立20周年を迎えられましたことに心からお喜び申し上げます。障害者福祉は、この20年の間に様々な活動が展開され、めまぐるしい変化がありました。貴法人に置かれましては、20年間の活動の中で、港南区における障害福祉の向上のため、大変なご苦労とご尽力を続けられ、これまで数多くの成果を上げられましたことに、あらためて敬意と謝意を表したいと存じます。

また、その記念事業の一環として記念号を発行されることは誠に喜ばしい限りであり、今後の貴法人の活動の礎となりますことを大いに期待いたします。最後になりましたが、貴法人のますますのご発展と皆様のご健勝を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

港南区障害者団体連絡会 会長 早坂 由美子様



そよかぜの丘法人設立20周年誠におめでとうございます。

横浜市の障害者施策として今から20数年前に各区に社会福祉法人型の地域活動ホームを整備することとなりました。しかしながら港南区においては障害福祉を主とする社会福祉法人がなく、障害者団体関係者は一様に頭を抱えましたが、初代理事長の松井佑子氏、故北見正義氏、故岡本嘉枝子氏のご尽力により社会福祉法人「そよかぜの丘」が誕生いたしました。

障がいをもたれた方・そのご家族にとって活動拠点となる場ができたことと、一時ケア・ショートステイなどの生活支援事業の拡充が図られたことは、大変喜ばしいことでありました。

その後、国の障害者施策は大きく変わり法制度の整備やサービスの充実が進みました。そして現在では、基幹相談支援センター・障害者後見の支援室「すまいる港南」など設立当初には想像もできなかった大きな役割を担うようになりました。

これからも港南区にお住いの障がい当事者・ご家族に寄り添った「そよかぜの丘」であり続けることを祈念して、お祝い申し上げます。



社会福祉法人そよかぜの丘 賛助会 会長 風間 昭子様

心より記念すべき「20周年おめでとうございます」と、お祝い申し上げます。「そよかぜの丘賛助会」は法人設立と共に20年前に設立されました。会員様お一人おひとりより、暖かいご支援ご理解ご協力を頂き運営させて頂いております。私達が日頃より運営の充実を目的として心掛けていることは、会員様と法人との「心配り」「思いやり」「暖かい支援」を常に念頭に置いて意思疎通を図り、積極的に会の諸施策に理解を深め参加協力することです。ここ数年は新型コロナウイルスの影響で、思う存分活動が出来ずもの寂しく、辛い気持ちです。まだまだ息苦しい事情の日々が続くかもしれませんが、会員皆様の「ご健康」「安心安全」を願って、そっとペンを置かせて戴きます。



そよかぜの家20周年に寄せて

初代理事長 松井 佑子様



平成14年11月1日午前9時 相談支援事業から始める「そよかぜの家」は静かに開所しました。あれから20年おめでとうございます。思えば平成11年秋、当時の2つの活動ホーム理事長の北見正義さんと私に刑務所跡地に1区1館の大型活動ホームを建設運営の相談があり、二人で熟慮の結果自分の区の施設は自分たちで造ろうと受けて立ちました。それからの3年、地区連合や地区社協をはじめ個人や団体の皆様から沢山の応援をいただき、残念にも北見さんは他界されましたが感謝の開所でした。これからも利用者さんを第一に、支えて働く職員はじめボランティアさんを大切にする「そよかぜ」であるよう願っています。



【歴代理事長任期】

初代	松井 佑子	2001年10月12日～2013年10月30日
2代目	清水 鐵夫	2013年10月31日～2016年3月31日
3代目	高森 政雄	2016年4月1日～





法人の設立趣旨

私たち社会福祉法人そよかぜの丘は、「法人型地域活動ホーム」を港南区に整備するため、地域の方々が中心となり、皆様の期待を受けて、平成13年10月に設立されました。同ホームは、横浜市が在宅の障害児・者及びその家族等の地域生活を支援する拠点施設として、1区に1館、設置しています。おかげをもちまして、平成14年11月、皆様の祝福を受けて「港南中央地域活動ホーム そよかぜの家」を開所することができました。

以後、港南区の福祉ニーズに基づき、グループホームや生活介護支援事業所などの開設、ケアプラザの運営などの委託事業を展開し、現在に至っています。



そよかぜの丘の歩み

- 2001年（平成13年）10月 社会福祉法人そよかぜの丘 設立認可**
- 2002年（平成14年）11月 港南中央地域活動ホームそよかぜの家 開所
「相談支援事業」「生活支援事業
（一時ケア・ショートステイ・余暇活動支援・おもちゃ文庫）」
「デイサービス事業」「地域交流事業」の開始
- 2003年（平成15年）4月 「身体障害者・知的障害者デイサービス事業」へ移行
（旧デイサービス事業）
8月 「障害者自立生活アシスタント派遣事業」開始
（現、障害者自立生活アシスタント事業）
10月 「重度重複障害者デイサービス事業」開始
- 2006年（平成18年）10月 「指定相談支援事業」認可
- 2007年（平成19年）4月 「生活介護事業」「自立訓練事業」
「地域活動支援センター事業デイサービス型」へ移行
- 2008年（平成20年）4月 グループホームグリーンヒルズそよかぜ 開所
- 2009年（平成21年）5月 グループホームサンフィールドそよかぜ一番館・二番館 開所
8月 横浜市日野南地域ケアプラザ・そよかぜ南の家 開所
「地域包括支援センター事業」「地域活動・交流事業」
「居宅介護支援事業」「通所介護事業」「介護予防通所介護事業」、
「生活介護事業」「就労継続支援B型事業」の開始
- 2011年（平成23年）3月 グループホーム フォレスタそよかぜ 開所
- 2012年（平成24年）4月 「計画相談事業」開始
7月 グループホーム セントアベニューそよかぜ一番館 開所
10月 グループホーム セントアベニューそよかぜ二番館 開所
- 2013年（平成25年）11月 生活介護支援事業所 キララそよかぜ 開所
- 2014年（平成26年）11月 港南中央地域活動ホームそよかぜの家 地域支援室 開設
- 2016年（平成28年）3月 障害者後見の支援室「すまいる港南」 開所
4月 基幹相談支援センター設置
- 2017年（平成29年）2月 生活介護事業所 あ〜すそよかぜ 開所
- 2019年（平成31年）4月 「自立生活援助」事業開始
- 2021年（令和3年）10月 社会福祉法人 そよかぜの丘 設立20周年**
- 2022年（令和4年）11月 港南中央地域活動ホーム そよかぜの家 20周年

地域の皆さん、ボランティアの方々に支えていただいた20年！

そよかせ南の家 ボランティア 蛭川 又一様

法人20周年おめでとうございます。
ミシンボランティアを始めたのはコロナ禍になって以降でした。

貸館などで以前から利用したことのあったケアプラザが発行している広報誌にボランティア募集の文字を見つけたのがキッカケでした。過去にミシンを使った仕事をしていたこと、地域に貢献・恩返ししたいという想いから募集しました。

週に1度、楽しくやらせてもらっています。今後も楽しみながら参加できればと思います。



生活介護事業所 あ～すそよかせ ボランティア 千葉 宣明様

法人20周年、誠におめでとうございます。
私はボランティア員として、最初、杉所長さんと共に利用者さんと一緒にあ～すそよかせさんの畑で活動。その後、大根・スイカ・ジャガイモ等々収穫、各営業所に移動販売に行っていたことが思い出に残っています。でもコロナ禍の影響により中断していましたが、小澤所長様から依頼があり、新年度令和5年4月から新たな気持ちで頑張る決意です。



ケアプラザ利用団体 「いすみの会」代表 木村 治夫様

法人設立20周年を迎え、誠におめでとうございます。

いすみの会は、さまざまな活動を楽しんでいる定年退職した男性のグループです。発足は2007年11月。2009年のケアプラザ開設後は、毎月の定例会をケアプラザで行っています。定年後は人生で最も充実した「ゴールデンエイジ」。人生観、価値観の異なる者が集まって、興味のあることを持ち寄り、セミナーなどを企画・開催し、「人生100年時代」を楽しんでいます。ケアプラザの夏まつりのポップコーン販売やキャンドルナイトなどに協力して、多世代交流なども積極的に行っています。これからも地域の発展のために職員の皆さん、頑張ってくださいと願います。



笹下地区民生委員児童委員協議会 会長 柿沼 恵子様

港南中央地域活動ホームそよかせの家の創立20周年おめでとうございます。

障害のある方が住み慣れたまちで安心して暮らすことができる地域の活動拠点としてそよかせの家は存在感があります。今後とも利用者の相談支援を中心に生活支援活動を継続してください。



ケアプラザの「子育てひろば」 ボランティア様

この度は、法人設立20周年、おめでとうございます。

私は、日野南地域ケアプラザで「子育てひろば」のお手伝いをさせて頂いています。

お部屋の準備と片付けが主な仕事ですが、空いた時間には仲間のボランティアさんとおしゃべりしながら楽しく作業しています。そしてお帰りの際には、お子さん達の可愛い姿に思わず笑顔になります。

私にとってこちらの活動は、家庭以外の場で自分が役立てることを実感させてくれます。これからも元気で続けていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

港南台地区センター 副館長 谷田貝 雪絵様

法人設立20周年の節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

そよかせサン(いつもの呼び方)のパンやお菓子はファンがたくさん！美味しくて、良心的な価格で多くの方に慕われています。

いつも明るく元気で、笑顔と優しさを分けてくれて…だから余計に美味しく感じます。これからも健やかに、美味しいパンやお菓子を販売してください。

そして誰もが心豊かに暮らしていける地域づくりのために、これからも一緒に頑張っていけたらと思います。

皆様の活動が一層発展されますことを願っております。

日野南地域ケアプラザ自主事業「トマトクラブ」 成田 敏明様

社会福祉法人そよかせの丘が開設20周年を迎えられ、衷心より祝賀申し上げます。

私は、日野南地域ケアプラザで主にトマトクラブのコーディネーターとしてその他各種ボランティア活動に従事させて頂いております。横浜市シニアボランティアとして、ケアプラザで活動をスタートしてから9年間継続してこられたのは、職員皆様のご支援と活動を通じて知り合った多くの仲間たちとの交流のお陰です。

今後も地域交流を一層進めて、元気で明るい地域作りを続けていきたいと思っています。



社会福祉法人 かながわ共同会

芹が谷まゆり園 地域サービス課 大崎 務様

法人設立20周年おめでとうございます。

そよかせ南の家さんには毎月パンの販売をして頂いていますが、南の家さんのパンは他では味わえない唯一無二の味だと思います。なぜなら、パンそのものの味はもちろん、それを通して交わされる会話や生まれる笑顔が、とても穏やかで温かなひとときを過ごさせてくれるからです。利用者の皆さんも毎月心待ちにしている様子が見られます。

今後も笑顔いっぱいの時間が続いていくと良いと思います。



周年記念写真 移り変わり

開所式



1 周年



3 周年



5 周年



7周年



10周年



15周年



そよかぜの家



●日中活動支援

6グループに分かれてそれぞれ特色ある活動を行っています。
最近では工賃アップを目指して新しい取り組みを各グループ始めています。
インスタグラムも始めました！ぜひフォローをお願いします。

みかんの木

パン工房・販売

お気に入りのパンがきっと見つかります！
パンストラップ作りにも挑戦しています。



りんごの木

陶芸・清掃

そよかぜアーティストが作る
お気に入りの陶芸がきっと見つかります！



ももの木

備品補充・工作

手作りポチ袋やストラップなどの販売を始めました！引き続き備品補充もがんばってます！



くりの木

リサイクル活動

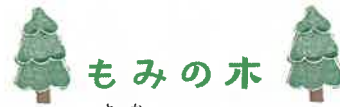
アルミ缶つぶしをしています。
空き缶たくさん募集してます！





創作

季節の装飾品はお任せください！



土曜日余暇

運動・音楽・書道・ドライブなど利用者さんの好きな事をしてリフレッシュしています。



仕事だけでなく季節のイベントごとにも全力で楽しんでいます！！



●生活支援事業

障害児・者の家族等が本人の介助を行えない場合や休養が必要な場合、宿泊を含めた一時的な過ごしへの支援を行います。入院・出産・冠婚葬祭などの緊急時の利用のみでなく、体験的な利用や生活のリズム作り、息抜き等の気軽な目的でも利用できます。

利用者さんに合わせた過ごしを提供しています。
余暇活動も少しずつ復活してきました。



日野南地域ケアプラザ

横浜市日野南地域ケアプラザは、平成21年8月に開所しました。地域ケアプラザは、高齢者、子ども、障害のある方など誰もが地域で安心して暮らせるよう様々な取り組みを行っている身近な福祉・保健活動の拠点です。当ケアプラザでは、次の4事業を行っています。

①「地域包括支援センター」、②「地域活動・交流」、③「生活支援体制整備」、④「居宅介護」
ケアプラザを拠点に活動してくださっている団体様やケアプラザの自主事業などをご紹介します。



銀のくつ（フォークダンス）



大人のモリ森ウォーキング♪



ロールケーキの会（太鼓）



めばえ（ハンドベル）



スマートフォンでLINEに挑戦



おひとりさまカフェ



子育てまなび隊☆はぐはぐ



親子でのびのびタイム



帰ってきた！みなみ・夏まつり



トマトクラブ



防災訓練



歴史講話とまちあるき



里の会（民謡おどり）



キャンドルナイトin港南台への参加
（ケアプラザ職員と南の家利用者
さん作成のランタン）

そよかぜ南の家

そよかぜ南の家は今年で開所14年目を迎えます！

南の家では港南区を中心とした地域から障がいを持つ18歳以上の方々が通所され、パンの製造や創作品の製作作業、館内外の清掃作業、周辺地域の企業から頂いた受注作業など様々な活動に取り組んでいます！
周辺施設や住民の方々にご協力頂きながら、パンの販売や駅前・公園・施設の清掃作業、地域のイベントへの参加など、地域との繋がりを大切にしながら積極的に交流を深めています。



運動・ストレッチや絵画、
音楽・テーブルゲームなど
の余暇プログラムもお
こなっています！



職員・ご利用者さん
共にとても明るく
元気で活気がある
事業所です！

グループホーム

そよかぜの丘 グループホームは2008年4月の『グリーンヒルズそよかぜ』開所以来、『サンフィールドそよかぜ一番館、二番館』『フォレストそよかぜ』『セントアベニューそよかぜ一番館、二番館』と全部で6館あり、現在33名の方が生活されています。入居者の皆さんは日中、通所・就労されながら、毎日の共同生活を楽しく過ごされています。安心、安全に生活が送れるように職員一丸となって支援させていただいています。



みんな仲良く穏やかでまったりです。
自分のペースで思い思いに過ごしています



毎日ホームからお仕事に通っています。みんなとスイカ割りなどをやるのが楽しいです。



仲は良く、しかし互いに
干渉すぎない…。
それぞれが思い思いに
生活しています。



皆の個性をいかしながら、バランス良く
暮らしています。ご飯が美味しいです！

皆と助け合いながら、
健康に気を付けて
楽しく元気に
過ごしています。



毎日の食事を、好き嫌いもなく
「美味しい、美味しい」と食べて
くださっています。色々ありますが、
みんな日々頑張っています。





キララそよかぜ



キララそよかぜでは、ロースツール（牛乳パックで作った椅子）制作・刺しゅう入りハンドタオル制作・アルミ缶つぶし・館内清掃・備品補充等の作業を中心に取り組んでいます。製品はキララそよかぜで販売しています。そのほかにも、書道やアート製作などにも取り組み、地域の作品展などに出品をしています。



キララそよかぜは毎日笑顔にあふれ、名前の通り「キラキラ」と皆さんが輝きながら活動をしています。



あ～すそよかぜ

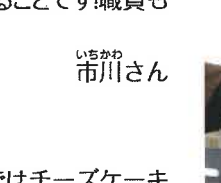
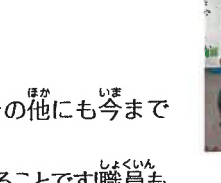
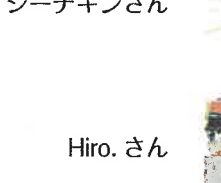
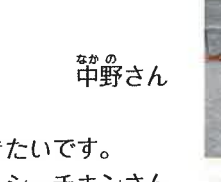
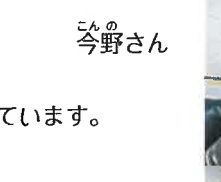
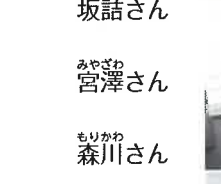
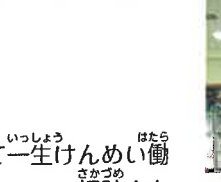
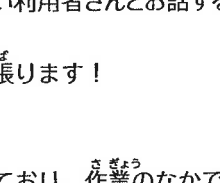
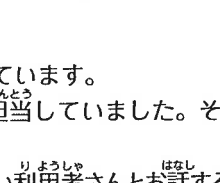
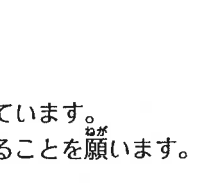
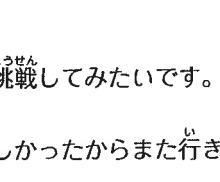
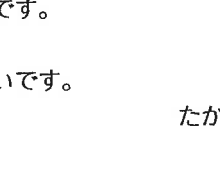
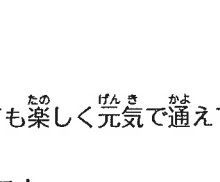
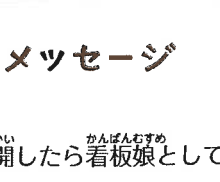
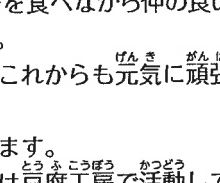
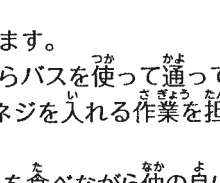
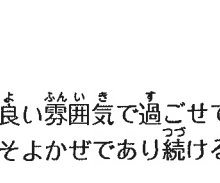
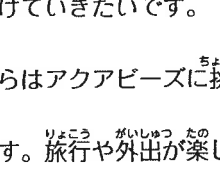
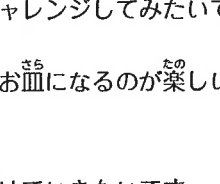
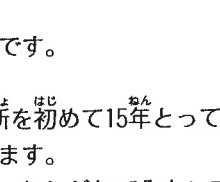
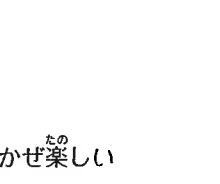
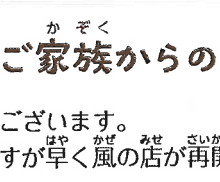
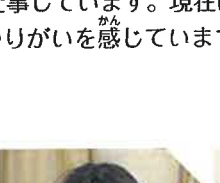
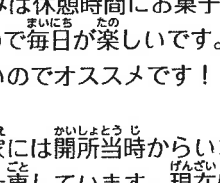
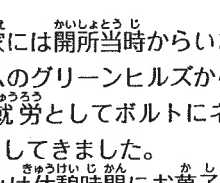
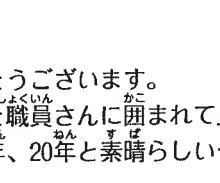
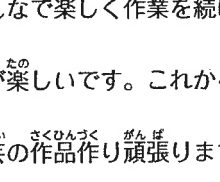
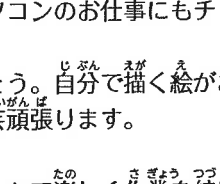
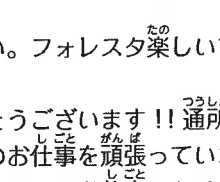
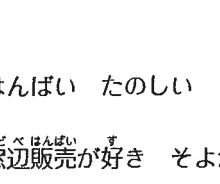
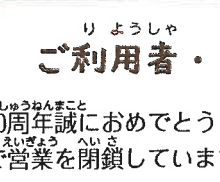
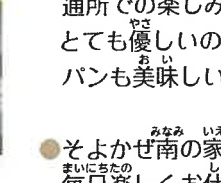
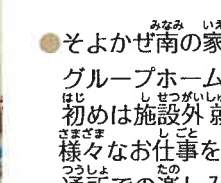
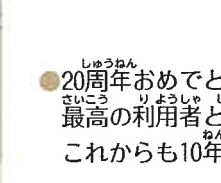
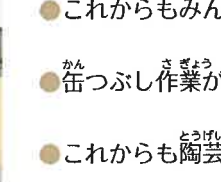
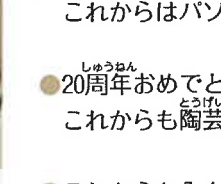
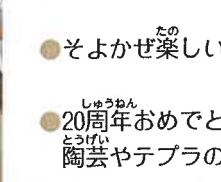
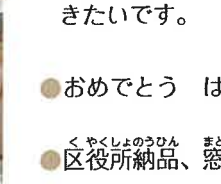
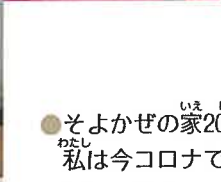
体を動かす活動が多く、それぞれのペースで作業を進めています。
メール便の投函業務で日野1丁目や5丁目を歩いて回り、空き缶つぶしや畑作業を行っています。
施設周辺の清掃作業も行っており、地域の方々からも声を掛けてもらっています。
余暇活動では横浜市内の公園へ行って園内を散策したりする他、室内でのレクリエーションや創作活動などを行なって楽しく過ごしています。





りようしゃ かぞく
ご利用者・ご家族からのメッセージ

- そよかぜの家20周年誠にありがとうございます。
私は今コロナで営業を閉鎖していますが早く風の店が再開したら看板娘として一生けんめい働きたいです。
坂話さん
- おめでとう はんばい たのしい
宮澤さん
- 区役所納品、窓辺販売が好き そよかぜ楽しい
森川さん
- そよかぜ楽しい。フォレスト楽しいです。
今野さん
- 20周年おめでとうございます!! 通所を初めて15年とっても楽しく元気で通えています。
陶芸やテブラのお仕事を頑張っています。
これからはパソコンのお仕事にもチャレンジしてみたいです。
- 20周年おめでとう。自分で描く絵がお皿になるのが楽しいです。
これからも陶芸頑張ります。
たかやまあけみさん
- これからもみんなで楽しく作業を続けていきたいです。
- 缶つぶし作業が楽しいです。これからはアクアピースに挑戦してみたいです。
中野さん
- これからも陶芸の作品作り頑張ります。旅行や外出が楽しかったからまた行きたいです。
シーチキンさん
- 20周年おめでとうございます。
最高の利用者と職員さんに囲まれて良い雰囲気です。
これからも10年、20年と素晴らしいそよかぜであり続けることを願います。
Hiro. さん
- そよかぜ南の家には開所当時からいます。
グループホームのグリーンヒルズからバスを使って通っています。
初めは施設外就労としてボルトにネジを入れる作業を担当していました。その他にも今まで様々なお仕事をしてきました。
通所での楽しみは休憩時間にお菓子を食べてながら仲の良い利用者さんとお話することです!職員もとても優しいので毎日が楽しいです。
パンも美味しいのでオススメです!これからも元気に頑張ります!
市川さん
- そよかぜ南の家には開所当時からいます。
毎日楽しくお仕事しています。現在は豆腐工房で活動しており、作業のなかではチーズケーキづくりが一番やりがいを感じています。今後の目標は引き続き豆腐工房で頑張っていきたいと思っています!
狩野さん





● 学校を卒業してすぐにそよかぜ南の家に入りました。
初めの頃は清掃班としてケアブラザの館内清掃や外掃除をしてました。
今は創作班になり自主製品作りやパン販売、アクリル板の消毒などをしています。得意な仕事は新聞紙でつくるゴミ箱折りです。皆から職人と呼ばれています。また楽しい仕事は、老人ホームの窓ふきの仕事です。これからの楽しみは旅行です！利用者さんと職員と皆さんで楽しみたいです！
磯崎さん



● そよかぜ南の家には開所当時からです。開所時から館外・館内の清掃作業や送迎車の清掃作業をおこなってきました。特にブラシを使って施設の壁を清掃する作業はやりがいあって好きな作業です。今後の目標は体調を整えて健康に過ごすこと！通所を休む回数を減らして工賃を貯めたいと思っています！
そして貯めたお金で趣味の鉄道模型を買いだと思っています！
佐藤謙輔さん



● 去年からそよかぜ南の家に通所し始めました。毎日楽しいです。特にボールペン作業と清掃作業が好きで職員さんに教えてもらいながら頑張っています。清掃作業ではテーブル拭きや洗濯、モップ拭きを担当しました。清掃班での活動は少ないけれどまた参加したいです。今後の目標はボールペン作業をもっと頑張ること。そして利用者さんと職員さんと仲良くなりたいです！また工賃を貯めたい！そして貯めたお金で母さんにプレゼントしたいと思っています！
高橋彩香さん

● そよかぜ20しゅうねんおめでとうございます。
ヤマトのおしごとあんまりむりしないで、がんばってくださいね。
おしごとみんなががんばってくださいね。カンのおしごとみんなががんばってください。
おふろもきもちよくはっていますよ。
おひるもまいにちおいしくつくっているから、ぼくたちもおいしくたべていますよ。
車でドライブにさんぽにいて、しゃんもみんなでとったのしいですよ。

● ごはんがおいしいです。栄養とか考えてってくれています。好き嫌いが少なくなりました。
● 仲は良く、しかし互いに干渉しすぎない…それぞれが思い思いに生活しています。
● みんな仲がよく、穏やかでまったりとしています。自分のペースで思い思いに過ごしています。
● 毎日ホームからお仕事に通っています。みんなとスイカ割とかやるのが楽しいです。

● 20周年おめでとうございます。
キララそよかぜでは、ししゅうやパソコン作業に取り組んでいます。
これからもよろしくお願いします。
山田さん

● そよかぜ20周年おめでとうございます。
職員の皆さんが本当に暖かく母子共にとても癒されています。
今後のさらなるご発展をお祈りいたします。
生方さんのご家族より





● 設立20周年おめでとうございます。
我が家の娘はそよかぜの家に3年間ほど、その後キララそよかぜの開所と同時に移り今日までお世話になっております。帰って来ると「(キララ) 楽しかった。(給食) 美味しかった。」としか話ませんが、お陰様で楽しく通っております。日頃、職員さんもご苦労が多いと思いますが、そんな様子を少しも見せず明るく細やかな対応をしてくださる姿に、親の方も元気づけられています。娘を理解して下さる方が身近にたくさんいる事は大変心強いです。これからも長〜いお付き合いを、よろしくお願いいたします。 山崎さんのご家族より

● 法人設立20周年おめでとうございます。そよかぜ南の家には開所当時から通所しています。当時は、港南台ひの特別支援学校の進路担当の先生より、南の家には開所について聞き、勧められたので利用希望を出しました。本人は車に乗ることが好きなので、納品等の活動に活かせたら嬉しく思います。これまで体調の悪化等いろいろありましたが、皆さんによくしてもらい、なんとか通所が継続できています。 関さんのご家族より

● 南の家に通所して11年目となりました。活動では清掃班に所属し、ケアプラザ清掃・公園や駅清掃・洗車・缶洗い等、本人が好きな「水」に関する仕事を仕事として取り組んでいます。とてもやりがいにつながっているようで、母としても感謝しています。また、社会生活をする上での、ルールやマナーも支援してもらっているので助かっています。 法人設立20周年おめでとうございます。 樋口さんのご家族より

● 設立20周年おめでとうございます。通所当時、娘は車椅子で通所していました。色々な問題が起きる度に、そよかぜの皆さんにお力添えになって頂き、今では一人で通う事が出来るようになりました。本当に感謝の気持ちで一杯です。これからも一層の発展とご活躍を心からお祈り致します。 田原さんのご家族より

● そよかぜの建物が増えつつ出来上がっていくのを親子で散歩しながら見ていました。あれから20年、楽しくパンを作り、楽しく販売に参加しています。 千葉さん

● 「そよかぜの丘」20周年おめでとうございます。
私共「そよかぜの丘」にお世話になり早17年になります。
重度の自閉症の息子ですが、様々なお仕事、課題作業、運動、トレーニング等指導していただき、少しずつですが成長していくことができました。
これからも毎日元気に過ごせるよう親子共々頑張っていきたいと思っております。

職員からメッセージ

● 社会福祉法人そよかぜの丘設立20周年心よりお祝い申し上げます。このような記念すべき日に利用者の皆様と一緒に過ごせることに大変感謝申し上げます。
これからも利用者の皆様、ご家族の皆様、地域の皆様と一緒に、楽しく笑顔でエネルギーに過ごせればと思います。 キララそよかぜ 所長 井関





● 20周年おめでとうございます。
 年々活力が出て元気いっぱい活動されている利用者さんの姿にパワーを頂いております。いつでも誰でも、誰とでも安心して気楽に自由に利用できるこれから先5年後、10年後のそよかぜの丘も楽しみです。
 職員N

● そよかぜの丘20周年おめでとうございます。明るく元気なみなさんの活躍にいつも元気をもらっています。これからも利用者さんと二人三脚で楽しいそよかぜにしていきたいです。 職員S

● そよかぜの丘20周年おめでとうございます。
 これまで関わってくださった皆さんとのご縁あってこそこの20年だと思えます。感謝の気持ちでいっぱいです。この先もたくさんのご縁とたくさん笑顔に出会えますように…。 雨宮真由美

● 社会福祉法人そよかぜの丘設立20周年おめでとうございます。
 利用者やそのご家族、地域の皆様に支えられてきたことを感謝いたします。これからも皆様とともに楽しい時間を過ごし、笑顔をたくさん作り出させるようにしていきたいと思ひます。
 あ～すそよかぜ所長 小澤勇二

● 「白くて四角くて入りづらい」
 ケアプラザにそんなイメージを持ってこの場を訪れた私はカラフルな外観に驚かされ、中に入ると更に賑やかで、活気あふれる南の家の利用者さんの姿に目を見張りました。
 小さなお子さんを連れた方、講座やイベントに参加したり、お仲間との活動でお部屋を使われる方。障がいがあってもなくても、誰もが同じ空間に当たり前にいて、「ここがあって良かった」と笑顔を見せてくださることが嬉しい毎日です。
 あれから12年、今やこの色彩豊かなケアプラザが私の定番になりました。
 つるみ 鶴見

● 福祉職はチームワークで成り立つものであり、当法人にはその環境が整っています。
 私は今年で7年目ですが、入職時から現在まで、上司やチームには大変恵まれ、成長の毎日です。壁にぶつかった際も、チームワークのおかげで乗り越えることができました。
 そよかぜの丘の一員である事に感謝と誇りをもっています。
 今後も専門性の向上に励み、人材育成に力を入れ、利用者やご家族への安心安全なサービスの実現に、精一杯努めます。
 そよかぜ南の家 サービス管理責任者 近江卓也

● 20周年おめでとうございます。私も気づけば10年以上勤めていますが、あっという間に感じます。
 振り返ると、ここまで勤めることが出来たのは、色々な方の助けがあり、仲間にも恵まれたからだと思ひます。今度は私が助ける側となり、支援に悩んでいる職員の助けとなるように、人材育成に力を入れていきたいです。
 感謝の気持ちを忘れず、住み慣れた地域で暮らす利用者・家族の支えとなれるように、共に働く仲間と頑張ります。
 そよかぜ南の家 サービス管理責任者 井上拓貴

● ホームでの食事、好き嫌いもなく、「美味しい、美味しい」と食べて下さっています。色々あるけど、皆日々頑張ってます。

● 設立20周年を迎えることができ、心から嬉しく思っています。
 日野南地域ケアプラザとそよかぜ南の家は、同じ建物にあり、高齢福祉と障害福祉の連携を目指し、時代を先取りした画期的な施設です。毎日、両施設のご利用者の皆様と笑顔で挨拶を交わし、お話しすることがこの上ない楽しみです。
 長寿社会を迎え、地域の皆様にお役に立ち、地域福祉に貢献するよう頑張っていきたいと思います。
 ケアプラザ・南の家 所長 上田





そよかぜの家 自主作品



陶芸



利用者さんの個性がたくさん詰まった世界に一つだけのオリジナル陶芸品です。

ポチ袋



お気に入りの柄をみつけてくださいね！



キララそよかぜ 自主作品



ヘアゴム、マグネット



くるみボタンを使った雑貨になります。

きんちゃく



ボランティアさんと協力して作成している巾着です。

エコバック



お買い物に便利なエコバックになります。

クリスマス刺しゅう



季節物の刺しゅうにも挑戦しています。こちらは鑑賞用です。

手作りパン

毎日焼き立てのパンを販売しております。お得な情報をインスタグラムでも発信中！



大きな
コッペパン



ポテトピザ
トースト



黒ごま
あんぱん



さつまいもパン



バジルチーズ



焼きそばパン



つぶあんぱん



メロンパン



チョコパン



えびっこ



レモン
クリームパン



チーズマヨ



パン・ポア
ブル・ベーコン



野沢菜パン



かぼちゃパン



風のクロックパン



クリームパン



リンゴパン



ツナ
オニオン



ごぼうサラダ



食パン

季節の装飾品



季節に合わせて手作り装飾品を作っています。



シュートレーン

ロースツール



牛乳パックを60個以上使って1個の椅子を作っています。1つ1つ丁寧に折込んでいます。

ハンドタオル



かわいいクロスステッチのワンポイントのあるハンドタオルを作成しています。ハート、麦わら帽子等様々なクロスステッチに挑戦中です！



そよかぜ南の家 自主作品

惣菜・菓子パン

りんご
デニッシュ

高菜パン

一つひとつ
丁寧に作って
います！



レーズンや
チョコが入った
パンも販売して
います！

抹茶大納言ロール

パンオショコラ

UFOパン

季節によって
中身が変わる
お楽しみ商品
です♪

くるみパン

お菓子

3種類
取り揃えて
います♪

パウンドケーキ



ブルドネージュ



カットクッキー



オートミールチョコ

創作品

様々な種類の創作品
を作っています！



ブレスレット



キラキラセット
(ネックレス&ブレスレット)



値札や台紙の準備も
しています！



くるみボタンヘアゴム



エコバック



ブローチ



マスクケース



切り絵や折り紙が
得意なご利用者さん
が作成されました！
季節の商品とコラボ
したりしています♪

そよかぜの丘 賛助会について

賛助会会員とは

障害を持つ方が地域で暮らしていくための支援を行っていく法人の活動を応援し、活動を支えてくださる会員の方を募集しています。

賛助会費の活用は

利用者に安全・安心・快適なサービスを提供するための職員体制、また職員の資質の向上を目指した研修の実施、地域に求められている新しい事業の創出資金などに使用していきます。

会
員
募
集
中
!

●会費について 賛助会員年会費 一口 **個人会員 5,000円** **法人会員 10,000円**

*複数口申し込み可能です。



そよかぜの丘

ご連絡・お問い合わせはこちらまで

運営：社会福祉法人 そよかぜの丘

ホームページ：www.soyokaze.or.jp
Instagram：s_kazenomiseで検索

港南中央地域活動ホームそよかぜの家
〒233-0003 横浜市港南区港南4-2-8
TEL：045-847-0230(代表)
FAX：045-845-5610

障害者後見の支援室「すまいる港南」
〒233-0004 横浜市港南区港南中央通1-12
TEL：045-841-8410
FAX：045-370-7503

生活介護事業所 キララそよかぜ
〒235-0035 横浜市磯子区田中2-19-7
TEL：045-349-3131
FAX：045-349-4560

港南中央地域活動ホームそよかぜの家 地域支援室
〒233-0004 横浜市港南区港南中央通1-12
TEL：045-370-7502
FAX：045-370-7503

横浜市日野南地域ケアプラザ・そよかぜ南の家
〒234-0055 横浜市港南区日野南3-1-11
TEL：045-836-1801(代表)
045-835-0988(相談)
045-342-6569(南の家直通)
FAX：045-836-1813

生活介護事業所 あ〜す そよかぜ
〒234-0051 横浜市港南区日野1-4-1
TEL：045-350-2133
FAX：045-350-3660